

Sport Fukushima

スポーツふくしま

47
2024.3

公益財団法人福島県スポーツ協会
Fukushima Sport Association

(公財)福島県スポーツ協会 〒960-8043 福島市中町8番2号 福島県自治会館6階
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



Let's play
sports
together!

みんなで
スポーツを!





～「オールふくしま」で 生涯スポーツ社会の実現へ～

公益財団法人福島県スポーツ協会
会長 北村 清士

この度、本協会の会長に就任しました北村です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

東日本大震災に伴う原子力災害やコロナ禍など、スポーツを取り巻く環境が大きく変化する中、福島県のスポーツ推進に多大な貢献をされた須佐喜夫前会長の志を引き継ぎ、本県スポーツのさらなる振興に貢献していきたいと考えております。

私が理事長を務める福島相双復興推進機構は、官民合同チームとも呼ばれ、国・県・民間企業が一体となって、原子力発電所事故で被災した事業者のなりわい再生・営農再開・広域まちづくり支援等を目的に活動しております。当機構は、個別訪問を重視し、販路開拓の仲介や新商品の開発、人材確保などの支援を行っています。また、職員が現地に何度も足を運び、被災者の声に耳を傾け本音を引き出しながら、課題解決の手伝いをしております。

福島県のスポーツの振興も、官民一体となった取り組みが欠かせません。令和4年に策定された「福島県スポーツ推進基本計画」に基づき、官民が連携して、それぞれの強みを活かしながら効果的に実施していくことで、本県のスポーツ環境をさらに充実させ、スポーツ活動を活性化させることができます。

昨年10月に公表された「福島県版健康データベース報告書」によると、福島県民は全国と比べて、メタボリックシンドロームに関連するリスクが多い傾向であることが明らかになりました。また、県民のスポーツ実施率も全国平均と比べて低い傾向にあることも報告されています。その主な要因として、以下の3つが挙げられています。

- ・ 仕事や家事・育児などで運動・スポーツ活動の時間が不足していること。
- ・ スポーツを継続するための環境が整っていないこと。
- ・ スポーツの魅力が十分に伝わっていないこと。

また、部活動の地域移行が段階的に進んでいる中で、総合型地域スポーツクラブをはじめとする地域における環境整備が課題となっております。そこで、本県スポーツにおける課題解決のための取り組みとして、適切な資質能力を身に付けたスポーツ指導者の育成が必要と考えます。スポーツ指導者の育成を充実させることで、幼児期から高齢者まで、県民がスポーツに親しむ機会が増え、スポーツを継続しやすい環境が整い、スポーツ人口の増加や交流人口の拡大が図られることでしょうか。これにより、スポーツの普及・発展が図られ、競技力向上につながったり、生涯スポーツの推進や、県民の健康増進につながったりすることが期待されます。

私も中学校時代に陸上競技部の短距離走に打ち込んだ経験がありますが、スポーツには、人々の心をつなぐ力、元気にする力や喜びや感動を与えてくれる力があると思います。スポーツの魅力を広く発信しながら、関係団体全ての皆様の声に耳を傾け、競技力の向上と生涯スポーツの推進、障がい者スポーツの普及、総合型地域スポーツクラブの充実など、スポーツのさまざまな課題に官民一体となって取り組むことで、スポーツのもつ力を最大限に引き出し、復興や活性化に向けた推進力となるよう力を尽くして参ります。

終わりに、福島県のスポーツ振興は、県民の皆様のご支援やご協力なしには成り立ちません。これまでの皆様のご支援に感謝し、これからも変わらぬご協力をお願い申し上げますと共に、「オールふくしま」で、生涯スポーツ社会への実現に向けて一歩ずつ前進するよう努力していくことをお誓いし、冒頭の挨拶とさせていただきます。

目次

協会の概要

- P1 巻頭言
- P2 令和5年度組織・事業概要
- 競技スポーツ～選手の育成・強化に関する事業～
- P6 特別国民体育大会 関連情報
- P12 第78回国民スポーツ大会冬季大会 関連情報
- P14 ふくしまスポーツキッズ発掘事業
- P15 スポーツふくしまビルドアッププロジェクト
- P16 ふくしまゴルフプロジェクト
- P17 福島県スポーツ協会 表彰式

生涯スポーツ～スポーツの振興に関する事業～

- P19 子ども運動啓発事業
- P20 スポーツ医事・トレーニング相談事業／アンチ・ドーピング教育・啓発事業
- P21 指導者養成・研修に関する事業（日本スポーツ協会公認コーチ1・コーチ2養成講習会）
- P23 指導者養成・研修に関する事業（福島県スポーツ指導者研修会＜更新研修会＞）
- P24 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格関連情報
- P25 認定スポーツ栄養士スキルアップ講習会

- P26 認定アスレティックトレーナースキルアップ講習会
- P27 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事業
- P30 広域スポーツセンター事業（日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー養成講習会）
- P31 福島県スポーツ少年団事業
- インフォメーション
- P33 チャリティー事業
- P34 賛助会員

表紙写真説明

上段：自転車競技 チームプリントの選手たち

左3段目：福島県スポーツ指導者研修会

右3段目：ふくしまシャイニングスタープロジェクト「ウエイトリフティング競技」

左2段目：スポーツクライミングコーチ1養成講習会

中央3段目：ふくしまスポーツキッズ発掘事業「体験プログラム」

右4段目：親子体操教室

中央2段目：表彰式謝辞 水泳競技 寺田拓未選手

公益財団法人福島県スポーツ協会組織図



加 盟 団 体 118

競技団体 56
市町村体育・スポーツ協会 59
学校体育団体 2
公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会 1

競技団体

| | | | |
|----|--------------------|----|----------------|
| 1 | (一財) 福島陸上競技協会 | 31 | 福島県銃剣道連盟 |
| 2 | 福島県野球連盟 | 32 | 福島県クレール射撃協会 |
| 3 | 福島県ソフトテニス連盟 | 33 | 福島県セーリング連盟 |
| 4 | 福島県テニス協会 | 34 | 福島県空手道連盟 |
| 5 | (一財) 福島県サッカー協会 | 35 | 福島県アーチェリー協会 |
| 6 | 福島県ハンドボール協会 | 36 | 福島県なぎなた連盟 |
| 7 | (一社) 福島県卓球協会 | 37 | 福島県アイスホッケー連盟 |
| 8 | 福島県剣道連盟 | 38 | 福島県ボウリング連盟 |
| 9 | 福島県ボート協会 | 39 | 福島県ゴルフ連盟 |
| 10 | (一社) 福島県水泳連盟 | 40 | 福島県カヌー協会 |
| 11 | 福島県自転車競技連盟 | 41 | 福島県ゲートボール協会 |
| 12 | 福島県ホッケー協会 | 42 | 福島県少林寺拳法連盟 |
| 13 | 福島県相撲連盟 | 43 | 福島県オリエンテーリング協会 |
| 14 | 福島県ライフル射撃協会 | 44 | 福島県パワーリフティング協会 |
| 15 | (一社) 福島県バスケットボール協会 | 45 | 福島県ダンススポーツ連盟 |
| 16 | 福島県バドミントン協会 | 46 | 福島県武術太極拳連盟 |
| 17 | 福島県ボクシング連盟 | 47 | 福島県綱引連盟 |
| 18 | 福島県柔道連盟 | 48 | 福島県トリアスロン協会 |
| 19 | 福島県弓道連盟 | 49 | 福島県グラウンド・ゴルフ協会 |
| 20 | 福島県ラグビーフットボール協会 | 50 | JABA 福島県野球協会 |
| 21 | 福島県体操協会 | 51 | 福島県テコンドー協会 |
| 22 | 福島県スキー連盟 | 52 | 福島県バウンドテニス協会 |
| 23 | 福島県スケート連盟 | 53 | 福島県スポーツチャンバラ協会 |
| 24 | 福島県馬術連盟 | 54 | 福島県インディアカ協会 |
| 25 | 福島県ソフトボール協会 | 55 | 福島県ボールルームダンス連盟 |
| 26 | 福島県バレーボール協会 | 56 | 福島県エアロビック連盟 |
| 27 | 福島県ウエイトリフティング協会 | | |
| 28 | 福島県レスリング協会 | | |
| 29 | 福島県フェンシング協会 | | |
| 30 | 福島県山岳・スポーツクライミング連盟 | | |

市町村団体

| | | | |
|----|--------------------|----|------------------------|
| 1 | 福島市スポーツ協会 | 31 | 公益財団法人喜多方市体育協会 |
| 2 | 二本松市スポーツ協会 | 32 | 北塩原村体育協会 |
| 3 | 伊達市スポーツ協会 | 33 | 西会津町体育協会 |
| 4 | 桑折町スポーツ協会 | 34 | 磐梯町スポーツ協会 |
| 5 | 国見町スポーツ協会 | 35 | 猪苗代町スポーツ協会 |
| 6 | 川俣町スポーツ協会 | 36 | 会津坂下町スポーツ協会 |
| 7 | 大玉村スポーツ協会 | 37 | 湯川村体育協会 |
| 8 | 本宮市スポーツ協会 | 38 | 柳津町体育協会 |
| 9 | 郡山市体育協会 | 39 | 三島町体育協会 |
| 10 | 須賀川市体育協会 | 40 | 金山町体育協会 |
| 11 | 田村市体育協会 | 41 | 昭和村スポーツ協会 |
| 12 | 鏡石町体育協会 | 42 | 会津美里町体育協会 |
| 13 | 天栄村体育協会 | 43 | 南会津町スポーツ協会 |
| 14 | 石川町体育協会 | 44 | 下郷町スポーツ協会 |
| 15 | 玉川村スポーツ協会 | 45 | 檜枝岐村体育協会 |
| 16 | 平田村スポーツ協会 | 46 | 只見町スポーツ協会 |
| 17 | 浅川町体育協会 | 47 | 相馬市スポーツ協会 |
| 18 | 古殿町スポーツ協会 | 48 | 南相馬市スポーツ協会 |
| 19 | 三春町体育協会 | 49 | 広野町体育協会(NPO法人広野みかんクラブ) |
| 20 | 小野町体育協会 | 50 | 一般社団法人楢葉町スポーツ協会 |
| 21 | 特定非営利活動法人白河市スポーツ協会 | 51 | 富岡町体育協会 |
| 22 | 西郷村スポーツ協会 | 52 | 川内村体育協会 |
| 23 | 泉崎村スポーツ協会 | 53 | 大熊町体育協会 |
| 24 | 中島村体育協会 | 54 | 双葉町体育協会 |
| 25 | 矢吹町スポーツ協会 | 55 | 浪江町スポーツ協会 |
| 26 | 棚倉町スポーツ協会 | 56 | 葛尾村体育協会 |
| 27 | 矢祭町スポーツ協会 | 57 | 新地町スポーツ協会 |
| 28 | 塙町スポーツ協会 | 58 | 飯館村体育協会(いわてスポーツクラブ) |
| 29 | 鮫川村スポーツ協会 | 59 | いわき市体育協会 |
| 30 | 会津若松市体育協会 | | |

令和5・6年度公益財団法人福島県スポーツ協会役員名簿

| No. | 役職名 | 氏名 | 選任区分 | 備考 |
|-----|------|-------|-------------------|-------------------------|
| | 名誉会長 | 内堀雅雄 | | 福島県知事 |
| | 顧問 | 宗形守敏 | | 前福島県体育協会会長 |
| | 顧問 | 須佐喜夫 | | 前福島県スポーツ協会会長 |
| 1 | 会長 | 北村清士 | | (株)東邦銀行顧問 |
| 2 | 副会長 | 片平俊夫 | 加盟競技団体 | 福島陸上競技協会名誉顧問 |
| 3 | 副会長 | 安藤喜勝 | 地域連合 | 県中地域連合会 |
| 4 | 副会長 | 渡邊亮 | 学校体育団体 | 福島県高等学校体育連盟会長 |
| 5 | 副会長 | 鈴木智 | 会長推薦 | 県議会議員代表 |
| 6 | 副会長 | 新井田大 | 加盟競技団体 | 福島県ボート協会会長 |
| 7 | 専務理事 | 樋本哲哉 | 会長推薦 | 県文化スポーツ局スポーツ課長 |
| 8 | 常務理事 | 壺岐ひろみ | 加盟競技団体 | 福島県水泳連盟会長 |
| 9 | 常務理事 | 長澤初男 | 加盟競技団体 | 福島県ソフトボール協会顧問 |
| 10 | 常務理事 | 大橋哲男 | 地域連合 | 会津地域連合会長 |
| 11 | 常務理事 | 馬橋廣明 | 学校体育団体 | 福島県中学校体育連盟会長 |
| 12 | 常務理事 | 高橋吉市 | スポーツ少年団 | 福島県スポーツ少年団本部長 |
| 13 | 常務理事 | 佐藤靖弘 | 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 | 福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会幹事長 |
| 14 | 理事 | 高橋雅行 | 加盟競技団体 | 福島県ハンドボール協会会長 |
| 15 | 理事 | 斉藤一美 | 加盟競技団体 | 福島県卓球協会会長 |

令和6年2月22日現在

| No. | 役職名 | 氏名 | 選任区分 | 備考 |
|-----|-----|-------|--------|--------------------|
| 16 | 理事 | 松本代志博 | 加盟競技団体 | 福島県弓道連盟会長 |
| 17 | 理事 | 佐藤英壽 | 加盟競技団体 | 福島県スケート連盟会長 |
| 18 | 理事 | 菊地俊美 | 加盟競技団体 | 福島県ウエイトリフティング協会会長 |
| 19 | 理事 | 三島弘司 | 地域連合 | 県北地域連合会副会長 |
| 20 | 理事 | 三森一男 | 地域連合 | 県南市町村スポーツ協会連合会長 |
| 21 | 理事 | 貝田美郎 | 地域連合 | 南会津地域連合会スポーツ協会会長 |
| 22 | 理事 | 林浩徳 | 地域連合 | 相双地域連合会長 |
| 23 | 理事 | 廣瀬敬彦 | 地域連合 | いわき市体育協会会長 |
| 24 | 理事 | 長岐博 | 会長推薦 | 福島県スポーツ推進審議会議長 |
| 25 | 理事 | 堀川哲男 | 会長推薦 | 公立藤田総合病院名誉院長 |
| 26 | 理事 | 高野光二 | 会長推薦 | 県議会議員代表 |
| 27 | 理事 | 安部泰男 | 会長推薦 | 県議会議員代表 |
| 28 | 理事 | 吉田真希子 | 会長推薦 | 株式会社東邦銀行陸上競技部監督 |
| 29 | 理事 | 安彦元気 | 会長推薦 | あびこ法律事務所弁護士 |
| 30 | 監事 | 渡邊幹夫 | 加盟競技団体 | 福島陸上競技協会監事 |
| 31 | 監事 | 佐藤弘樹 | 加盟競技団体 | 福島県ラグビーフットボール協会副会長 |
| 32 | 監事 | 末永敏則 | 加盟競技団体 | 福島県水泳連盟 |

任期：令和5年度定時評議員会終結から令和7年度定時評議員会終結まで

| No | 加盟団体 | 評議員名 |
|----|------------|-------|
| 1 | 陸上競技 | 鈴木浩一 |
| 2 | 軟式野球 | 橋本隆一 |
| 3 | ソフトテニス | 小野間幸一 |
| 4 | テニス | 戸川稔朗 |
| 5 | サッカース | 菅野貴夫 |
| 6 | ハンドボール | 石田智宏 |
| 7 | 卓球 | 五十嵐修二 |
| 8 | 剣道 | 武藤土津夫 |
| 9 | ボート | 東條有克 |
| 10 | 水泳 | 田中潔 |
| 11 | 自転車競技 | 班目真紀夫 |
| 12 | ホッケー | 遠藤浩太郎 |
| 13 | 相撲 | 東海林義一 |
| 14 | ライフル射撃 | 菅野益征 |
| 15 | バスケットボール | 安斎司 |
| 16 | バドミントン | 吉田邦男 |
| 17 | ボクシング | 藍原浩 |
| 18 | 柔道 | 佐川勝人 |
| 19 | 弓道 | 高井幸子 |
| 20 | ラグビーフットボール | 紺野宗作 |
| 21 | 体操 | 鈴木木聖也 |
| 22 | スキー | 野川武 |
| 23 | スケート | 阿部良 |

| No | 加盟団体 | 評議員名 |
|----|------------|-------|
| 24 | 馬術 | 坂本邦雄 |
| 25 | ソフトボール | 大野正美 |
| 26 | バレーボール | 渡邊秀雄 |
| 27 | ウエイトリフティング | 高野滋 |
| 28 | レスリング | 渡部友幸 |
| 29 | フェンシング | 秦秀行 |
| 30 | 山岳 | 平子吉政 |
| 31 | 銃剣道 | 佐藤亨 |
| 32 | クレール射撃 | 相川登志夫 |
| 33 | セーリング | 保科昇 |
| 34 | 空手道 | 松原光 |
| 35 | アーチェリー | 渡邊正仁 |
| 36 | なぎなた | 矢澤良伸 |
| 37 | アイスホッケー | 水野英暢 |
| 38 | ボウリング | 伊藤寛 |
| 39 | ゴルフ | 原通雄 |
| 40 | カヌー | 遊佐久男 |
| 41 | ゲートボール | 佐藤一八 |
| 42 | 少林寺拳法 | 鈴木賢一 |
| 43 | オリエンテーリング | 加藤一郎 |
| 44 | パワーリフティング | 金澤巧 |
| 45 | ダンススポーツ | 野地康雄 |
| 46 | 武術太極拳 | 石澤久芳 |

| No | 加盟団体 | 評議員名 |
|----|----------------------|-------|
| 47 | 綱引 | 安斎一二 |
| 48 | トリアスロン | 三浦光雄 |
| 49 | グラウンド・ゴルフ | 岩間裕子 |
| 50 | 野球 | 東城一弘 |
| 51 | テコンドー | 武田健 |
| 52 | バウンドテニス | 千田良 |
| 53 | スポーツチャンバラ | 堀田満 |
| 54 | インディアアカ | 沼沢行晴 |
| 55 | ボールルームダンス | 金子恒夫 |
| 56 | エアロビック | 五十嵐由則 |
| 57 | 県北地域連合会 | 杉内貞夫 |
| 58 | 県中地域連合会 | 手塚英勝 |
| 59 | 県南市町村スポーツ協会連合会 | 沼田重一 |
| 60 | 会津地域連合会 | 田沢一夫 |
| 61 | 南会津地域連合会スポーツ協会 | 星公二 |
| 62 | 相双地域連合会 | 篠木弘 |
| 63 | いわき市体育協会 | 矢吹仁孝 |
| 64 | 福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 | 矢吹健 |
| 65 | 高等学校体育連盟 | 齊藤祐介 |
| 66 | 中学校体育連盟 | 田中信次 |
| 67 | スポーツ少年団 | 今泉春雄 |
| 68 | 障がい者スポーツ協会 | 七宮弘 |

※任期は令和3年度の定時評議員会終結から令和7年度定時評議員会終結まで

令和5年度公益財団法人福島県スポーツ協会事業概要

基本方針

公益財団法人福島県スポーツ協会は、競技力の向上と生涯スポーツの推進を二大目標として掲げ、公益財団法人日本スポーツ協会や県・市町村及び加盟団体と連携を図りながら各種事業を推進し、「スポーツに強いふくしま」の確立に努める。

1 競技力の向上

公益財団法人福島県スポーツ協会は「スポーツに強いふくしま」の確立を図るため、加盟競技団体、福島県中学校体育連盟、福島県高等学校体育連盟等との連携をより密接なものとし、競技力向上に向けた各種強化事業を積極的に推進する。

2 生涯スポーツの推進

県民の誰もが、豊かなスポーツライフを創造できる「生涯スポーツ社会の実現」をめざして、各関係組織・団体と連携し、生涯スポーツ事業の推進に努める。

事業内容

1 スポーツ振興事業（公益目的事業1）

| | 事業名 | 年月日 | 人数等 | 会場 | 内容 |
|---|-----------------------|----------------------|-------------|-----------------|---|
| 1 | 双葉地区教育構想支援事業（専任コーチ派遣） | 通年 | - | ふたば未来学園高等学校・中学校 | 双葉地区未来創造型リーダ育成構想に関し、バドミントン競技、レスリング競技におけるトップレベルの専任コーチを派遣し優秀な選手育成に資する。 |
| 2 | アンチ・ドーピング教育・啓発事業 | 通年 | 41競技 | 県内各地 | アンチ・ドーピング（ドーピング防止）徹底のため、国体の監督会議等で講習会開催や情報提供活動等を実施し、健全なスポーツ活動の推進を図る。 |
| 3 | 子ども運動啓発事業 | R5.10 | 200名程度 | 県内各地 | 親子で行う体操や運動を通して、幼児期における子どもたちの運動への関心や意欲を高めるとともに、幼児教育に携わる指導者の指導力向上を図る。 |
| 4 | スポーツ医事・トレーニング相談 | 通年 | 70回程度 | 県内各地 | スポーツ愛好者や選手のけが・病気等に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図るための講師の派遣等を行う。 |
| 5 | スポーツ情報提供事業 | 通年 | 全県民対象 | - | 生涯スポーツに関する情報の収集や整理を行い、情報を発信するためのホームページの運営と広報誌「Sport Fukushima」、メールマガジン「福スポ協ニュース」の発行 |
| 6 | 福島県指導者研修会（更新研修会） | R5.11.26 R5.12.17 | 各回 ~300名 | 郡山市 | 指導者の資質向上と地域におけるスポーツ活動の活性化を図るための研修会の実施 |
| 7 | JSPO公認コーチ1・2養成講習会 | R5.6 R6.1 | 約150名 | 県内各地 | クラブ等において、対象に合わせた指導のできる競技別指導者を養成するための講習会の開催 |
| 8 | ふくしまスポーツ発掘事業 | 通年 | 20競技程度 | 県内各地 | 小学生を対象とした、スポーツとふれあう機会の拡充と未来のふくしまのスポーツを担う人材の発掘・育成 |
| 9 | 顕彰事業の実施（表彰式） | R6.1.11 | 200名程度 | 福島市 | スポーツ功労賞、優秀選手賞（個人・団体）、優秀指導者賞、社会体育優良団体賞、特別賞に対する表彰 |

| | 事業名 | 年月日 | 人数等 | 会場 | 内容 |
|----|-------------------|---|--------------------------|----------------------|---|
| 10 | 市町村体事育業 大会開催 | 通年 | 市町村 体育・スポーツ 協会 | 県内各地 | 市町村体育・スポーツ協会が実施する体育大会に対して経費を一部助成 |
| 11 | 自転車競技場の運営 | 通年 | - | 泉崎村 | 泉崎国際サイクルスタジアムを泉崎村に無償貸与し管理運営を委託 |
| 12 | 福島県総合スポーツ 大会開催 | R5.4 R6.1 | ①52競技 ②6競技程度 ③18競技 | 県内各地 | ①第50回東北総合体育大会・特別国民体育大会(燃ゆる感動かごしま国体)の選手選考会等 *メイン開催 R5.7.8(土)~7.10(月) *冬季競技は、第78回国民スポーツ大会の選手選考会等 ②地域スポーツ大会(地域連合会) ③スポーツ少年団大会 |
| 13 | 東北総合体育大会への派遣 | R5.6 R5.12 主会期 (8.18~ 8.20) | 37競技 | 岩手県内各地 | 令和5年度特別国民体育大会東北ブロック大会兼 第50回東北総合体育大会 |
| 14 | 国民体育(スポーツ)大会への派遣 | R5.9.16 R6.2.24 | 40競技程度 | 鹿児島県内各地 | 特別国民体育大会(燃ゆる感動かごしま国体) *会期前実施競技 R5.9.16(土)~9.24(日) *本大会 R5.10.7(土)~10.17(火) |
| | | | | 北海道 苫小牧市 山形県 山形市他 | 第78回国民スポーツ大会「新たな光へ!とまこまい国スポ2024」 R6.1.27(土)~2.3(土) ・スケート競技 苫小牧市 (スピード・フィギュア・ショートトラック) ・アイスホッケー競技 苫小牧市 「やまがた雪未来国スポ」 R6.2.21(水)~2.24(土) ・スキー競技 山形市・上市市・最上町 |

2 競技力向上特別対策事業 (公益目的事業2)

選手の育成・強化

| | 事業名 | 年月日 | 人数等 | 会場 | 内容 |
|---|--------------------|-----|--|---------|--|
| 1 | スポーツふくしま プロジェクト | 通年 | ①38競技 ②3競技6種別 ③8競技程度 ④30チーム程度 ⑤ネクスト アスリート 15名程度 ⑥リーディング コーチ 14名程度 ⑦3競技 ⑧2競技 | 県内・県外各地 | 国体等で上位入賞できる県内競技団体の「強化」に加え、キッズ・ジュニア世代の重点的な「育成」、潜在能力が高く将来性のある選手の「発掘」に取り組み、「発掘・育成・強化」の一体的な推進による持続的な本県スポーツ競技力の向上を図る ①国体強化支援事業 ・国体上位入賞に向けた強化練習会、合宿等の開催 ・国体入賞、ブロック大会突破に向けた強化練習会、合宿等の開催 ②リアライズスポーツ強化指定事業 ・東京2020オリンピックを通して本県との関わりが深く、競技力向上に資することが期待される団体種目の少年種別を指定し更なる強化を図る ③拠点スポーツサポート事業 ・競技人口減少等の課題を有する競技団体に対し、強化拠点地域内のキッズ・ジュニア選手の活動を集中的に支援し競技の裾野拡大と底上げを図る ④ジュニアアスリート強化指定事業 ・震災の影響等により競技力の低減が課題となっている少年種別の競技力向上のため、競技種目ごとに中心的な役割を果たす中学校・高等学校、クラブチーム、ジュニア選手に対して活動を支援する ⑤ネクストアスリート支援事業 ・日本代表入りをし、国際的な大会等での活躍を目指す若手アスリートに対し、JOCや中央競技団体が実施する強化練習会に要する費用等を支援する ⑥リーディングコーチ養成事業 ・競技力向上とスポーツインテグリティに係る研修会を実施し、競技団体の持続可能な強化体制を推進していく上で、牽引役となる指導者を養成する ⑦冬季国体強化支援事業 ・冬季3競技において国体等での入賞を目指し、競技団体がアドバイザーコーチやロールモデルコーチを招聘し強化練習会等実施に要する費用を支援する ⑧ふくしまシャイニングスタープロジェクト ・オリンピック出場選手輩出実績のある競技の体力テストや適性テスト等を行い、将来性があるアスリートを発掘するとともに、競技開始と定着を支援する |
| 2 | 強化合宿事業への指導・助言 | 通年 | 41競技 | 県内各地 | 競技団体の開催する強化合宿等への指導激励訪問を実施 |
| 3 | ふくしまゴルフプロジェクト | 通年 | 競技指導者・ 競技者 | 県内 | 一般社団法人日本女子プロゴルフ協会から講師を招聘し、県内ゴルフ人口の裾野拡大と指導者の育成及び競技力の向上を目的とした「ふくしまゴルフ人材育成事業」を実施 |

会議等

| | 事業名 | 年月日 | 人数等 | 会場 | 内容 |
|---|------------------------|---------------|-------------------------|-----|---|
| 1 | 体育・スポーツ団体調整会議 | R5.5.9 | 41競技 強化担当者等 約100名 | 福島市 | 各競技団体の強化担当者や事務担当者と各種競技力向上事業について連絡調整を図り、共通理解のもと一層効率的な強化事業の推進に努めるための会議の開催 |
| 2 | 強化対策会議(競技 団体のヒアリング) | R5.12 R6.3 | 41競技 強化担当者 約120名 | 福島市 | 令和5年度強化事業の反省と第78回国民スポーツ大会(冬季競技については79回大会)に向けた競技力の現状分析と対応策についての会議の開催 |

3 ふくしま広域スポーツセンター事業 (公益目的事業3)

| | 事業名 | 年月日 | 人数等 | 会場 | 内容 |
|--------------|-------------------------|------|-------|-------------|---|
| 広域スポーツセンター事業 | | | | | |
| 1 | 市町村等訪問 | 随時 | 31市町村 | 県内各地 | 市町村を訪問し、現存する総合型クラブの体制強化を図る 設立市町村を訪問し、クラブ育成の理解促進を図る |
| 2 | 公認アシスタント マネージャー養成講習会 | R5.8 | 30人 | 福島市 | 総合型クラブのマネジメントの中核を担うクラブマネージャーの養成 |
| 3 | クラブアドバイザー等配置事業 | 通年 | 1人 | 県内各地 | 県内の総合型クラブに対し、専門知識や経験を活かした直接的な支援をするクラブアドバイザーを配置する 総合型クラブの自立的な運営の促進に向けた支援を担う中間支援組織に係る業務を行う者を配置する |
| 4 | 情報提供事業 | 随時 | 78クラブ | 県内・県外 各地 | 総合型クラブに関する各種情報を発信 |

| | 事業名 | 年月日 | 人数等 | 会場 | 内容 |
|---------------------|-----------------|----------------------|----------------|---------|---|
| 5 | クラブ支援アドバイザー派遣事業 | 随時 | 31市町村 36クラブ | 県内各地 | 各市町村および県内の総合型クラブに対し、クラブの創設から自立・活動までを一体的にアドバイスできるアドバイザーを派遣し、設立支援や運営充実のための指導・助言や情報提供を行う アドバイザー同士のネットワークを構築するとともに、アドバイザー相互のスキル向上を図りながら県内のクラブの更なる活動充実を推進する |
| 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事業 | | | | | |
| 1 | 総会 | R5.5 | 80人 | 福島市 | 総会の開催 |
| 2 | 常任幹事会 | R5.5 R5.6 R6.1 | 各16人 | 福島市 | 常任幹事会の開催 |
| 3 | 専門部会 | 年5回 | 15人 | 県内各地 | 研修会や交流会の企画運営、広報資料の作成企画等について検討 |
| 4 | 研修会・交流会 | 随時 | 50人 | 県内各地 | クラブ運営強化及び関係者の資質向上を目的とした研修会や、クラブ間の情報交換や交流の促進を図ることを目的とした交流会の開催 |
| 5 | 全国・東北事業 | 随時 | 5人 | 県内・県外各地 | SC全国ネットワーク総会への出席や関連事業への参加 |
| 6 | 地区SC補助事業 | 随時 | 7地区 | 県内各地 | 県内7地区の地区SCが開催する会議、研修会、交流会をはじめとする事業費・運営費を補助 |
| 7 | クラブ支援事業 | 随時 | 60クラブ | 県内各地 | 総合型クラブへの指導・助言等の相談窓口の設置(委託)による総合型クラブ組織のネットワークの充実・強化を図る |
| 8 | 人材育成事業 | 随時 | 7人 | 県内各地 | 県内各地区連絡協議会の中核を担う人材を育成するため、公益財団法人日本スポーツ協会公認クラブマネージャー資格取得を支援する |
| 9 | 広報啓発 | 随時 | 60クラブ | 県内・県外各地 | 広報誌やホームページによる情報発信 |
| 10 | 登録・認証制度の運用 | 随時 | 24人 | 県内各地 | 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用登録審査委員会の開催(登録申請書の書面審査、実地審査) |

4 令和5年度福島県スポーツ少年団事業(公益目的事業4)

| | 事業名 | 年月日 | 人数等 | 会場 | 内容 |
|--------------|--|-------------------------|--------|------------------|--|
| 国内交流・競技別交流大会 | 全国スポーツ少年大会 | 8月4日～7日 | 2名 | 兵庫県 | スポーツ少年団員の交流やスポーツ大会を通して、青少年のからだところを育み、健全育成に努めるための各種交流大会・競技別交流大会 |
| | 東北ブロックスポーツ少年大会 | 8月8日～8月10日 | 10名 | 山形県 | |
| | 福島県スポーツ少年大会兼東日本大震災復興祈念スポーツ交流事業 | 1月中旬 | 80名 | 福島県 | |
| | 福島県総合スポーツ大会スポーツ少年団体育大会〔主会期〕 | 7月～ | 18競技 | 県内各地 | |
| | 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会福島県大会 | 6月 | 16チーム | 未定 | |
| | 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会東北IIブロック予選大会 | 7月1日 | 2チーム | 山形県 | |
| | 東北ブロックスポーツ少年団ミニバスケットボール交歓大会 | 2月下旬・3月上旬 | 4チーム | 秋田県 | |
| | 東北地区サッカースポーツ少年団交流大会 | 7月16日～17日 | 2チーム | 秋田県 | |
| | 東北ブロックスポーツ少年団柔道交流大会 | 12月2日～3日 | 4チーム | 岩手県 | |
| | 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 | 8月3日～6日 | 1チーム | 千葉県 | |
| | 全国スポーツ少年団ホッケー交流大会 | 8月中旬(4日間) | 1チーム | 東京都 | |
| | JFA全日本U-12サッカー選手権大会(日スポ少共催) | 12月下旬 | 1チーム | | |
| | 全国スポーツ少年団剣道交流大会 | 3月29日～31日 | 1チーム | 群馬県 | |
| | 全国スポーツ少年団バレーボール交流大会 | 3月28日～31日 | 1チーム | 宮城県 | |
| 交際国際 | 日独スポーツ少年団同時交流【受入】 | 7月28日～8月14日 | 9名 | いわき市 | ドイツユースの受入れとドイツの派遣を通して、親善を深めるとともに、国際的な視野に富んだ若者の育成 |
| | 日独スポーツ少年団同時交流【派遣】 | 7月27日～8月14日 | 3名 | ドイツ | |
| リーダー養成 | ジュニア・リーダーズスクール(県内6会場) | 8月～12月 | 180名 | 各支部 | 各支部の研修や中央での研修を通して、次代を担うリーダーの育成 |
| | 日本スポーツ少年団シニア・リーダーズスクール | 8月7日～10日 | 2名 | 静岡県 | |
| 指導者養成 | スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会(オンライングローバルワーク)1コース | 10月28日 (8・9月eラーニング) | 100名 | オンライン | スタートコーチ(スポーツ少年団)資格取得のための指導者講習会の開催 |
| | スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会(オンライングローバルワーク)2コース | 1月27日 (11・12月eラーニング) | 100名 | オンライン | |
| 指導者研修 | 福島県育成母集団研修会 | 調整中 | 30名 | 南会津支部 | 指導者の資質の向上や母集団の育成・組織強化のための研修会の開催 |
| | 東北ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会 | 11月16日～17日 | 5名 | 仙台市 | |
| | スポーツ少年団指導者更新研修 | 一年間 | 200名 | 県内各支部 | |
| リーダー会 | 福島県スポーツ少年団リーダー会定例会(4回) | 5月～3月 | 15名 | 郡山市 | リーダー会員の交流や研修のために、県やブロックでの研修会の開催 |
| | 全国スポーツ少年団リーダー連絡会 | 10月～11月 | 2名 | 東京都 オンライン | |
| | 北海道・東北ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会 | 11月3日～5日 | 5名 | 青森県 | |
| 会議・研修・式典・広報 | 福島県スポーツ少年団指導者協議会運営委員会2回 | 4月25日/2月13日 | 各30名 | 福島市 | 市町村スポーツ少年団本部や各支部と県本部、さらには、北海道・東北ブロック及び日本スポーツ少年団との連携を深めるための会議の開催 本団指導者協議会の組織強化やリーダーの養成、指導者の育成のための会議の開催 |
| | 福島県スポーツ少年団常任委員会2回 評議員会2回 | 5月19日/2月15日 | 各80名 | 福島市 | |
| | 福島県スポーツ少年団表彰2回・派遣選考委員会1回 | 5月/10月/2月 | 各8名 | 福島市 | |
| | 福島県スポーツ少年団表彰式、日本スポーツ少年団顕彰伝達式 | 12月 | 60名 | 福島市 | |
| | 東北ブロックスポーツ少年団会議(連絡協議会2回、指導者協議会1回 北海道・東北ブロック1回) | 5月/2月 | 4名 | 岩手県 | |
| | 日本スポーツ少年団会議4回 委員総会2回 指導者協議会1回 事務担当者会議1回 | 5月/2月 | 各1名 | 東京都 (オンライン併用) | |
| | 福島県スポーツ少年団広報誌「本部報第48号」の発刊 | 3月下旬 | 2,000部 | | |



特別国民体育大会成績

① 参加状況

| 大会 | 区分 | 会期 | 開催地 | 団長 | 参加競技数 | 派遣人数 | | | |
|------|-----------------------|---|-------------------|-------|-------|------|----|-----|-----|
| | | | | | | 役員 | 監督 | 選手 | 合計 |
| 冬季大会 | スケート競技会 アイスホッケー競技会 | R 5. 1/28(土) ～2/ 5(日) | 青森県 八戸市 | 佐藤 英壽 | 2 | 10 | 3 | 30 | 43 |
| | スキー競技会 | R 5. 2/17(金) ～2/20(月) | 岩手県 八幡平市 | 玉川 武 | 1 | 9 | 3 | 38 | 50 |
| 本大会 | | R 5.10/7(土)～10/17(火) 会期前競技：9/16(土)～24(日) | 鹿児島県 鹿児島市 他 | 北村 清士 | 35 | 18 | 68 | 386 | 472 |

② 競技成績

| 大会 | 区分 | 天皇杯 | | | | 皇后杯 | | | |
|------------|----|---------|------|---------|-----|--------|------|---------|-----|
| | | 競技得点 | 参加得点 | 得点合計 | 順位 | 競技得点 | 参加得点 | 得点合計 | 順位 |
| スケート競技会 | | 5点 | 10点 | 15点 | 26位 | 5点 | 10点 | 15点 | 21位 |
| アイスホッケー競技会 | | 0点 | 10点 | 10点 | 12位 | — | — | — | — |
| スキー競技会 | | 6.5点 | 10点 | 16.5点 | 18位 | 2.5点 | 10点 | 12.5点 | 15位 |
| 本大会 | | 317.25点 | 370点 | 687.25点 | 36位 | 72.75点 | 330点 | 402.75点 | 43位 |
| 合計 | | 328.75点 | 400点 | 728.75点 | 42位 | 80.25点 | 350点 | 430.25点 | 44位 |



福島民友提供

結団式・ときの声

③ 入賞状況 本大会

●陸上競技 競技得点 25.75点 天皇杯 34位 皇后杯 38位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|--------|-------|----|------|-------|---------------|
| 成年男子 | 400mH | 5 | 4 | 山内大夢 | 東邦銀行 |
| 成年女子 | 300m | 3 | 6 | 松本奈菜子 | 東邦銀行 |
| 少年男子A | 走幅跳 | 2 | 7 | 曲山純平 | 日本大学東北高等学校 3年 |
| 少年男子B | 3000m | 1 | 8 | 増子陽太 | 学法石川高等学校 1年 |
| 少年女子共通 | 走高跳 | 7 | 0.75 | 三宅花音 | 日本大学東北高等学校 3年 |

●ローイング競技 競技得点 17点 天皇杯 22位 皇后杯 23位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|------|---------|----|----|-------------|-----------------------|
| 成年男子 | ダブルスカル | 6 | 9 | 小沢源 山田琢巳 | 株式会社SEI喜羅里 仙台大学 4年 |
| 少年男子 | シングルスカル | 4 | 5 | 小柴健太朗 | 西会津高等学校 3年 |
| 少年女子 | シングルスカル | 6 | 3 | 古川萌 | 西会津高等学校 3年 |

●ボクシング競技 競技得点 5.5点 天皇杯 28位 皇后杯 26位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|------|------|----|-----|-----|-------------|
| 少年男子 | ライト級 | 3 | 5.5 | 山崎湊 | 学法福島高等学校 3年 |

●レスリング競技 競技得点 13点 天皇杯 33位 皇后杯 8位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|------|------------------|----|-----|------|------------------|
| 成年男子 | フリースタイル125kg級 | 5 | 2.5 | 大房快聖 | 日本ウェルネススポーツ大学 3年 |
| 女子 | フリースタイル53kg級 | 5 | 2.5 | 横瀬亜美 | ふたば未来学園高等学校 3年 |
| 少年男子 | グレコローマンスタイル51kg級 | 3 | 5.5 | 下村武靖 | 喜多方桐桜高等学校 2年 |
| 少年男子 | グレコローマンスタイル92kg級 | 5 | 2.5 | 山本侑季 | 喜多方桐桜高等学校 2年 |



陸上競技 松本奈菜子選手



陸上競技 山内大夢選手



ローイング競技



燃ゆる感動がごしま国体を終えて

今回、私は走り幅跳びに出場させていただきました。結果は、7m43cmの福島県高校新記録で2位になりました。この結果に至るまでを振り返ると、高校最後のシーズンは、記録ばかりを気にしてしまい、インターハイ予選落ちなど思うような競技ができず、とても苦しい時期がありました。しかし、国体までの期間は、自分の課題であった踏切のタイミングと助走の組み立ての改善ができ、自信をもって国体に挑むことができました。

大会に入り、桜島の火山灰が降り積もり、鹿児島独特の雰囲気を感じる中で試合を迎えました。試合当日は、自分らしい跳躍をすることだけを考えて挑みました。予選は、記録を残さないと決勝に上がれないので、攻めきれない跳躍だったのですが、決勝

陸上競技 [少年男子A走幅跳]
日大東北高等学校 3年 曲山 純平

に上がり助走から踏切まで攻めた跳躍ができ、2位になることができました。

このような結果を出すことができたのは、鹿児島県の会場まで見に来てくださった、菊田コーチとコーチングしていただいた五十嵐先生のおかげです。自分が伸び悩んで苦しんだ時期に、アドバイスの目線で支えていただいた二人の恩師の目の前で、高校入学時から目標にしていた県高校新記録を出すことができよかったです。

私は、大学進学しても競技を継続するので、これからも地元鹿児島の皆さんから応援されるような選手を目指し頑張ります。今回は応援ありがとうございました。



先輩、仲間を支えられた国体を終えて

わたしは鹿児島で開催された特別国民体育大会「燃ゆる感動がごしま国体」少年男子3000mに出場しました。「国体優勝」「3000mタイム8分を切る」を目標にしました。

初めて出場した昨年の「いちご一会とちぎ国体」では全体3位となり、中学3年生で中学新記録は出せたものの、1歳年上の高校生の8分01秒のスピードに気後れし、序盤からついていかずゴール。後に「まだ行けたのに、守りの走りになっていた」と後悔の残る大会でした。そのため今年は昨年のリベンジの想いで2つの目標を立てて臨みました。学法石川高校入学より1年間松田監督のもと、陸上部の先輩・仲間たちと切磋琢磨しスピードを磨いてきました。

中学時代からの同年代ライバル達の走りを目の当たりにし、決勝前夜「本当に自分は勝てるのか」とも不安になりました。そんなときに、ともに練習

陸上競技 [少年男子B 3000m]
学校法人石川高等学校 1年 増子 陽太

を乗り越えてきた学法石川の先輩から「陽太なら絶対いけるぞ。積み上げてきたものは陽太が一番だ。克己心」と言葉をかけてもらい、不安な心を救い上げていただきました。「去年のような守りの走りはしない」と気持ちを切り替えることができ「優勝したい」という気持ちでスタートラインに立ちました。そして勝ち切った優勝。タイムは8分05秒32。ラスト10mでライバルに抜かれたとき、昨日の先輩の言葉を胸に力を振り絞りました。レース中、心も身体も苦しかったけど、今の自分の実力をすべて出したという満足感がうれしかったです。優勝はできたもののタイムでの目標は達成できなかったのは残念でしたが。

来年は新たな目標を立てて少年A5000mに出場します。これからも先輩や仲間たちを大切に、走ることへの楽しみを忘れずに練習に励んでいきたいです。

●水泳競技 競技得点 16点 天皇杯 32位 皇后杯 39位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|-------|------------|----|----|------|---------------|
| 成年女子 | 飛板飛込 | 8 | 1 | 西沢明歩 | 郡山ダイビングクラブ |
| 成年男子 | 100mバタフライ | 6 | 3 | 寺田拓未 | ミキハウス |
| 少年男子A | 200mバタフライ | 7 | 2 | 井川龍心 | 福島成蹊高等学校 2年 |
| 少年男子B | 100m背泳ぎ | 2 | 7 | 渡部竣也 | 日本大学東北高等学校 1年 |
| 少年男子B | 200m個人メドレー | 8 | 1 | 渡部竣也 | 日本大学東北高等学校 1年 |
| 少年女子B | 100m平泳ぎ | 7 | 2 | 武田璃子 | 日本大学東北高等学校 1年 |



ウエイトリフティング競技 遠藤梨李選手

●ウエイトリフティング競技 競技得点 64点 天皇杯 8位 皇后杯 9位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|------|-----------|----|----|-------|-------------|
| 成年男子 | 73kg級スナッチ | 1 | 8 | 近内三孝 | 日本大学(職) |
| 成年男子 | 73kg級C&J | 2 | 7 | 近内三孝 | 日本大学(職) |
| 成年男子 | 81kg級スナッチ | 1 | 8 | 宍戸大輔 | 日本大学(職) |
| 成年男子 | 81kg級C&J | 2 | 7 | 宍戸大輔 | 日本大学(職) |
| 成年男子 | 55kg級C&J | 2 | 7 | 君島一成 | 日本大学 4年 |
| 女子 | 59kg級スナッチ | 3 | 6 | 遠藤梨李 | 東京国際大学 4年 |
| 女子 | 59kg級C&J | 3 | 6 | 遠藤梨李 | 東京国際大学 4年 |
| 少年男子 | 67kg級スナッチ | 3 | 6 | 増子創也 | 福島明成高等学校 2年 |
| 少年男子 | 61kg級スナッチ | 5 | 4 | 熊田樹 | 田村高等学校 3年 |
| 少年男子 | 61kg級C&J | 7 | 2 | 熊田樹 | 田村高等学校 3年 |
| 少年男子 | 96kg級スナッチ | 8 | 1 | 吉田紳之介 | 田村高等学校 3年 |
| 少年男子 | 96kg級C&J | 7 | 2 | 吉田紳之介 | 田村高等学校 3年 |



ウエイトリフティング競技 近内三孝選手



バドミントン競技 少年男子

●バドミントン競技 競技得点 18点 天皇杯 10位 皇后杯 14位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|------|----|----|----|------|----------------|
| 少年男子 | | 3 | 18 | 谷岡大后 | ふたば未来学園高等学校 3年 |
| | | | | 松川健大 | ふたば未来学園高等学校 2年 |
| | | | | 川野寿真 | ふたば未来学園高等学校 1年 |



かごしま国体を終えて

私は今回、鹿児島県で開催された「燃ゆる感動かごしま国体」に出場し、少年男子 B100m背泳ぎにおいて2位になることができました。今回の国体は私にとって初めての国体でした。去年の栃木国体では自身のコロナウイルス感染により欠場した為、今回のかごしま国体に対する気持ちはとても大きくなっていました。予選は1位通過で、決勝はセンターレーンでのレースとなりました。私はレースプランを入念に考えてレースに挑みましたが、結果は2位で、1位には一步届かず、自己ベストも更新できなかったのですごく悔しかったです。

水泳競技〔少年男子B 100m背泳ぎ〕
日大東北高等学校 1年 渡部 竣也

しかし私がここまで来れたのも自分だけの力ではなく、支えてくれたコーチや親や仲間など、たくさんの人の協力があってからです。来年からは少年男子Aでの戦いとなります。相手は年上ばかりですが、今回の悔しさを胸に、応援してくれる皆さんの方々の期待に応えられるよう日々の練習に励んでいます。応援ありがとうございます。



特別国民体育大会に出場して

私は今回、鹿児島県で行われた特別国民体育大会に出場させていただきました。結果としては81キログラム級でスナッチ競技1位、クリーンアンドジャーク競技2位、トータル1位という結果でした。私自身、国民体育大会で優勝するのは高校生以来であったのでとても嬉しかったのですが、クリーンアンドジャークでは1位の選手と同記録での2位だったため少し悔しさが残りました。昨年の国民体育大会はすべて2位という結果であと一步優勝には届かず悔しい思いをしました。そして今年の5月までは1つ上の階級の89キログラム級

ウエイトリフティング競技〔成年男子81kgスナッチ〕
日本大学 宍戸 大輔

でしたが、持ち体重から約10キロの減量をして臨んだ試合だったので、自分自身もどこまで出来るのか、「去年より順位が下がってしまったらどうしよう。」などと考えていたのですが優勝することができて良かったです。

今大会に出場するにあたって関係者の皆様、選手、コーチや、応援してくださる皆様のサポートがあって結果を出すことが出来ました。来年の国体では完全優勝を目標に一年間練習に取り組んでいきます。引き続きサポート、ご声援の程よろしく申し上げます。

●自転車競技 競技得点 65点 天皇杯 3位 皇后杯 22位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|------|-------------|----|----|-------|-------------|
| 男子 | チームスプリント | 1 | 24 | 邊見 竜馬 | 日本大学 4年 |
| | | | | 三神 遼矢 | 日本大学 4年 |
| | | | | 吉田 唯斗 | 明治大学 2年 |
| 成年男子 | スプリント | 1 | 8 | 三神 遼矢 | 日本大学 4年 |
| 成年男子 | 1kmタイムトライアル | 2 | 7 | 邊見 竜馬 | 日本大学 4年 |
| 少年男子 | スクラッチ | 1 | 8 | 小林 岳央 | 学法石川高等学校 3年 |
| 少年男子 | ポイント・レース | 2 | 7 | 成田 光志 | 学法石川高等学校 1年 |
| 少年男子 | ケイリン | 3 | 6 | 舟木 玲王 | 学法石川高等学校 3年 |
| 少年男子 | スプリント | 4 | 5 | 福田 悠航 | 学法石川高等学校 3年 |



自転車競技 成田光志選手



自転車競技 小林岳央選手



燃ゆる感動かごしま国体を終えて

自転車競技〔男子チームスプリント〕
日本大学 4年 三神 遼矢

私は今回、鹿児島県で開催された「燃ゆる感動かごしま国体」に福島県の代表として出場させていただきました。結果は、チームスプリント優勝、スプリント優勝を果たすことができました。私の最後の国体をこのような形で締めくくることができてとても嬉しく思います。

福島県での国体に向けてのトレーニングキャンプでは県の先生方が思う存分トレーニングができる環境を用意していただき、福島県チームとして皆で高いモチベーションを持ってトレーニングすることができました。また、応援してくれる人もたくさんいてそれが力になりました。かごしま国体では福島県の代表選手として良い走りをする事ができたと考えています。

前年度のいちご一会栃木国体にも出場させていただいており、チームスプリント3位、スプリント優勝という結果でした。そのため、かごしま国体では次こそはチームスプリントで優勝をしてスプリントでは2連覇を果たしたいと思っていました。

これからも、世界の頂点を目指して頑張りますので今後ともご支援の程よろしくお祈りします。



燃ゆる感動かごしま国体を終えて

自転車競技〔男子チームスプリント〕
明治大学 2年 吉田 唯斗

私は今回、福島県の代表として、鹿児島県で開催された「燃ゆる感動かごしま国体」に出場させていただきました。個人種目では、結果が振るわず悔しい思いをしました。この悔しさを糧に、また来年出場機会をいただいた時には優勝できるよう、ここから力をつけていきます。チームスプリントでは、大会新記録で同種目県勢初の優勝という結果を取ることができました。チームを組んだ三神さん、邊見さんとは大学が違うため、普段はライバル同士なのですが、この国体では一番の心強い味方でした。学生ラストイヤーに憧れの先輩方と一緒に頂点に立てたことが何よりも嬉しかったです。

することができたのは、いかなる時も支えてくれる家族の存在があったからこそです。そして、はるばる遠くから駆けつけてくださったチーム福島の保護者の方々の温かいご声援が、大きな原動力になりました。チームスプリント優勝という結果で応えられたことを本当に嬉しく思います。チーム福島が一丸となり故郷を背負って戦った国体は、私にとって感慨深く、自転車競技人生の中での貴重な経験になりました。

国体前には強化宿舎に参加するために、毎週末東京から福島に通いました。数少ない練習に毎回集中

最後に、この国体の開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆様、ご多忙の中親身になって指導して下さった先生方にこの場をお借りしまして、心より感謝申し上げます。



鹿児島国体の総括

自転車競技〔男子チームスプリント〕
〔成年男子1kmタイムトライアル〕
日本大学 4年 邊見 竜馬

2019年に行われた茨城国体は、高校3年生の時にいざさらでもらいポイントレースで1位と2点差、2位とは同点で着差で3位になりました。この年の夏に行われたインターハイでは2位でどちらもあと一步届かず悔しくて全国優勝するために大学の道を選びました。そこからコロナの影響が大きく大学の主要大会も国体も開催されない時期が続き、目標がなくなる中で練習を疎かにしている時期もありましたが、徐々に大会が開催されるようになって大学2年次にインターカレッジに出場しましたが結果が出ず、ここでまた新たな気持ちで頑張ろうと思いました。そして、大学3年次のインターカレッジでタンデムスプリントで優勝することができましたが、その年の栃木国体では1kmタイムトライアルで0.04

秒差で2位でした。4年生になったインターカレッジではチームスプリントで優勝できましたが、チーム種目のみの出場で鹿児島国体が本当のラストチャンスでした。ですが、また2位でした。個人種目で優勝できなかったことはすごく悔しいですが仲間がいたおかげで団体種目大会新記録で優勝できました。個人競技の自転車競技でも仲間の大切さやチームの雰囲気がとても大事で少年も成年も分け隔てなく楽しく大会に挑めたので総合成績も3位になれたと思いました。この経験を次の競輪の道に活かして1番を目指して頑張りたいと思います。

応援ありがとうございました。今年も福島県選手団の応援よろしくお祈りします。

●セーリング競技 競技得点 5点 天皇杯 22位 皇后杯 16位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|------|---------|----|----|------|----------|
| 成年女子 | ILCA 6級 | 4 | 5 | 高橋 香 | 鹿島小学校(教) |



セーリング競技 高橋香選手

●馬術競技 競技得点 3点 天皇杯 35位 皇后杯 23位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|----|---------|----|----|-------|---------------|
| 少年 | 標準障害飛越 | 7 | 2 | 秋葉 大地 | 日本大学東北高等学校 3年 |
| 少年 | 二段階障害飛越 | 8 | 1 | 秋葉 大地 | 日本大学東北高等学校 3年 |



馬術競技 秋葉大地選手

●バレーボール競技 競技得点 7.5点 天皇杯 26位 皇后杯 17位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|-------|-----------------|----|-----|--------|-----------------|
| 少年女子 | | 7 | 7.5 | 後藤 涼風 | 郡山女子大学附属高等学校 3年 |
| | | | | 今井 乃愛 | 郡山女子大学附属高等学校 3年 |
| | | | | 穂積 愛実 | 白河高等学校 3年 |
| | | | | 浅利 麻央 | 郡山女子大学附属高等学校 3年 |
| | | | | 佐藤 ゆあさ | 郡山女子大学附属高等学校 3年 |
| | | | | 石井 美空 | 郡山女子大学附属高等学校 2年 |
| | | | | 藤枝 かりん | 郡山女子大学附属高等学校 2年 |
| | | | | 佐藤 にじ | 郡山女子大学附属高等学校 2年 |
| | | | | 八木橋 環 | 郡山女子大学附属高等学校 2年 |
| | | | | 川村 愛 | 郡山女子大学附属高等学校 2年 |
| | | | | 増子 夢菜 | 郡山女子大学附属高等学校 2年 |
| 高木 樹里 | 郡山女子大学附属高等学校 2年 | | | | |



バレーボール競技 少年女子

●体操競技 競技得点 1点 天皇杯 22位 皇后杯 19位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|----|--------|----|----|-------|----------|
| 男子 | トランポリン | 8 | 1 | 菊地 智周 | 保原小学校(教) |



体操競技 菊地智周選手

●バスケットボール競技 競技得点 12.5点 天皇杯 17位 皇后杯 15位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|------|----|----|------|-------|--------------|
| 成年男子 | | 5 | 12.5 | 佐藤 龍馬 | 平支援学校(教) |
| | | | | 山岸 玲太 | 東北村田製作所 |
| | | | | 鈴木 絢斗 | 水ingAM株式会社 |
| | | | | 佐藤 完太 | 磐崎中学校(教) |
| | | | | 桂澤 拳斗 | 有限会社助川工業 |
| | | | | 本田 駿也 | 株式会社サステム |
| | | | | 大澤 綾 | 福島県庁 |
| | | | | 川名 優 | 社会福祉法人むつき福祉会 |
| | | | | 吉田 怜央 | 北芝電機株式会社 |
| | | | | 菅野 陸 | 帝京安積高等学校 3年 |
| | | | | 緑川 知也 | 帝京安積高等学校 3年 |



バスケットボール競技 成年男子

●ライフル射撃競技 競技得点 3点 天皇杯 36位 皇后杯 32位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|------|-------|----|----|-------|----------|
| 成年男子 | CFP30 | 6 | 3 | 永田 仁一 | 福島県警察機動隊 |

●スポーツライミング競技 競技得点 3点 天皇杯 25位 皇后杯 15位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|------|-----|----|----|--------|-------------|
| 少年男子 | リード | 8 | 3 | 佐々木 玲偉 | 福島成蹊高等学校 1年 |
| | | | | 岡田 陽向 | 郡山第七中学校 3年 |

●カヌー競技 競技得点 7点 天皇杯 38位 皇后杯 31位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|------|-------------|----|----|-------|---------|
| 成年男子 | SP K-1 500m | 2 | 7 | 青木 瑞樹 | 自衛隊体育学校 |

●弓道競技 競技得点 39点 天皇杯 8位 皇后杯 6位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|------|----|----|----|---------|-------------|
| 少年男子 | 遠的 | 6 | 9 | 鈴木 駿 佑 | 福島工業高等学校 3年 |
| | | | | 橋本 哲 杜 | 学法石川高等学校 3年 |
| | | | | 柴田 憲乃介 | 平工業高等学校 3年 |
| 少年男子 | 近的 | 7 | 6 | 鈴木 駿 佑 | 福島工業高等学校 3年 |
| | | | | 橋本 哲 杜 | 学法石川高等学校 3年 |
| | | | | 柴田 憲乃介 | 平工業高等学校 3年 |
| 少年女子 | 近的 | 1 | 24 | 高橋 玖海那 | 白河高等学校 3年 |
| | | | | 佐久間 雪 月 | 橘高等学校 3年 |
| | | | | 千葉 咲 幸 | 橘高等学校 3年 |

●なぎなた競技 競技得点 6点 天皇杯 17位 皇后杯 17位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|------|----|----|----|--------|-------------------|
| 成年女子 | 試合 | 7 | 6 | 大竹 葵 | 会津若松ザベリオ学園高等学校(教) |
| | | | | 古内 陽 菜 | 竹中工務店 |
| | | | | 伊藤 愛 子 | 日本女子体育大学 3年 |

●ボウリング競技 競技得点 6点 天皇杯 26位 皇后杯 20位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|------|--------|----|----|---------|-------------|
| 成年女子 | 個人戦 | 6 | 3 | 大河内 未 来 | 株式会社アグリテクノ |
| 少年男子 | 2人チーム戦 | 8 | 3 | 中野 雄 太 | 橘高等学校 3年 |
| | | | | 石塚 成 央 | 会津北嶺高等学校 2年 |



スポーツライミング競技 少年男子



カヌー競技 青木瑞樹選手



ボウリング競技 大河内未来選手



鹿兒島特別国民体育大会

弓道競技 [少年女子 近的]
監督 松浦 健人

平素より福島県スポーツ協会からは物心両面にわたり多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。また、新型コロナ、インフルエンザ等の感染症への対策が必要な中、本大会の開催に向けてご尽力くださった全ての国体関係者の皆様にも心より感謝申し上げます。

れたもののブロック大会での射詰めに敗れて国体出場を逃した人、指導者として「国体の壁」に何度跳ね返されても、その度に次の強化のステージを模索することで強靱な理論を構築してきた人もいました。



今回の鹿兒島特別国民体育大会にむけて結成された福島県の少年チームは、「男女両種別での同時国体出場」、「国体での遠近競技同時入賞」を目標に掲げ、7月に活動を始めました。その選手やスタッフには全国大会や国体を巡る不思議な因縁がありました。過去に全国大会出場を懸けて射詰め勝負をしたライバル同士や、今まで全国大会に出場していても、そこでは存分に力を発揮出来ずに悔しい思いをしていた選手。また、スタッフの中にも、高校時代に福島県強化選手に惜しくも選ばれなかった人や、選

このように熱い想いを持った様々な人間が「全国大会で勝負をする」という決意のもとで一つに「結集」したことで、前述の目標の全てを達成できただけでなく、今回の少年女子の近的競技国体優勝にもつながりました。

さて、選手にとっては最高の結果で終わったわけですが、我々スタッフにとっては毎年戦いが続きます。今回得た経験をもとに、次のステージで更なる活躍ができるよう、貴協会のサポートを賜りながら精進していく所存です。今後とも、よろしく願っています。



国体出場という目標

ボウリング競技 [少年男子 2人 チーム戦]
福島県立橘高等学校 3年 中野 雄太

国民体育大会ボウリング競技の少年男子2人チーム戦で8位入賞を果たすことができました。前回、前々回は東北総体で結果が出ず国体に出場できなかったため、私が少年男子として出場できる最後の機会である今回の国体は必ず出場しようと努力してきました。

人チーム戦に臨みました。チームメイトと協力して力を合わせることで、お互いに100%の実力を発揮して、初出場で2人チーム戦で8位に入賞することができました。

私が最も力を入れて練習したのは、スベアを取る確率を上げることです。それによって、国体でも安定したスコアを出すことができました。

また、国体の開会式で旗手を務めさせていただきました。入場行進はとても緊張しましたが、とても貴重で有意義な経験ができたと思います。旗手という大役にお選びいただきありがとうございます。

個人戦では、連続でストライクを出すことができず、スコアが伸びなかったため、決勝に進出することができませんでしたが、それでもあきらめずに2

少年男子としての出場は今回で最後ですが、8位入賞という結果に満足せずに、次は成年男子の部によりよい成績を残せるようこれからも練習に取り組んでいこうと思います。



第78回国民スポーツ大会冬季大会成績

① 参加状況

| 大会 | 区分 | 会期 | 開催地 | 団長 | 参加競技数 | 派遣人数 | | | |
|------|-----------------------|------------------------|-------------------|-------|-------|------|----|----|----|
| | | | | | | 役員 | 監督 | 選手 | 合計 |
| 冬季大会 | スケート競技会 アイスホッケー競技会 | R6.1/28(日) ～2/3(土) | 北海道 苫小牧市 | 佐藤 英壽 | 2 | 10 | 3 | 27 | 40 |
| | スキー競技会 | R6.2/21(水) ～2/24(土) | 山形県 山形市 最上山 | 阿部 和博 | 1 | 10 | 3 | 31 | 44 |

② 競技成績

| 大会 | 区分 | 天皇杯 | | | | 皇后杯 | | | |
|------------|----|------|------|------|-----|------|------|------|-----|
| | | 競技得点 | 参加得点 | 得点合計 | 順位 | 競技得点 | 参加得点 | 得点合計 | 順位 |
| スケート競技会 | | 3点 | 10点 | 13点 | 26位 | 3点 | 10点 | 13点 | 22位 |
| アイスホッケー競技会 | | 0点 | 10点 | 10点 | 11位 | — | — | — | — |
| スキー競技会 | | 2点 | 10点 | 12点 | 23位 | 2点 | 10点 | 12点 | 15位 |
| 合計 | | 5点 | 30点 | 35点 | 28位 | 5点 | 20点 | 25点 | 24位 |

③ 入賞状況

●スケート競技 競技得点 3点 天皇杯 26位 皇后杯 22位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|------|-------------|----|----|-------|------------|
| 成年女子 | スピード 2000mR | 6 | 3 | 木田 綾音 | 陸上自衛隊 |
| | | | | 秋山 光希 | 安積第二小学校(教) |
| | | | | 安田 彩夏 | 八戸学院大学 4年 |
| | | | | 清水 凜 | 早稲田大学 3年 |

●スキー競技 競技得点 2点 天皇杯 23位 皇后杯 15位

| 種別 | 種目 | 順位 | 得点 | 選手名 | 所属 |
|-------|-------------|----|----|-------|-----------|
| 成年女子B | ジャイアントスラローム | 7 | 2 | 網代 慈子 | 猪苗代小学校(教) |



これからの決意と福島県の未来を見据えて

スケート競技〔成年女子2000mリレー〕
早稲田大学 3年 清水 凜



北海道苫小牧市において開催された第78回国民スポーツ大会冬季大会に福島県の代表として参加させて頂きました。昨年度の八戸国体においては個人・リレーとも入賞することができず悔しい結果で終えていたため、今大会ではその雪辱を晴らし、1得点でも多く福島県に貢献しようという気持ちで臨みました。結果、成年女子2000mリレーでは第6位に入賞することができました。

大会を終えて、昨年もたせなかった入賞を今年はリレー種目で達成することはできたものの、個人種目の成年女子1500m・3000mで上位の舞台で戦うことができなかった点に悔しさを感じました。私は現在大学3年生で、スケート競技に専念する期間を大学卒業までと考えると、残り1年しかありません。この1年間をスケートのために捧げ、来年こそは個人種目においても入賞したい。そして、応援して下さる方々の心に熱い情熱を私の滑りで届けたい。私の故郷、福島県のために選手として恩返しをしたいという強い決意を持ちました。

また、これからのスケート界を考えると、子供たちの育成だけでなく、健康や生涯スポーツとしてスピードスケートをする・見る・支えて楽しむ人を増やすことなど、広い視座を持ってこれからのスピードスケート競技界、福島県のスポーツ界を考える必要があるのではないかと思います。私は未来の福島県、スピードスケート界、スポーツ界を見据えて考え、行動し、関わるすべての人を幸せにしたいです。その一つとして、国民スポーツ大会冬季大会に出場する福島県選手団をこれまで以上に強化し、盛り上げていくことが私の目標です。

感謝あふれる、初めての「国民スポーツ大会」

スキー競技〔成年女子Bジャイアントスラローム〕
猪苗代小学校 教諭 網代 慈子



これまで「国民体育大会」と呼ばれていた大会の名称が、今年から「国民スポーツ大会」に変更となりました。その理由は、スポーツの楽しさやよさといった、スポーツの価値を広めたり、多くの人にスポーツが普及したりすることを図るためだそうです。

今年は、未だかつてない深刻な雪不足に見舞われ、多くのスキー大会が中止となりました。しかしながら、多くの役員や関係機関の方々のご尽力のおかげで、本大会が開催されることとなりました。雪を運び入れる作業、雪の中に混ざった石を手で取り除く作業、コースを形作る作業、他にも多大な時間と手間がかかっていたことと思います。すぐに溶けてしまう雪を目の前に、批判の声が聞こえながらも、大会の実施を実現して下さったことは、本当に感謝しかありません。

今回の国民スポーツ大会において、会場が選手や選手の関係者、観戦者の笑顔で埋め尽くされ、それはオンライン中継でも全国に発信されました。そして、私自身もスキーの楽しさや、7位入賞の喜びを多くの方々とは分かち合うことができました。国民スポーツ大会の目的そのものが、記念すべき最初の今大会で達成されていたのではないのでしょうか。そんなかけがえのない機会をくださった、大会役員・関係者の方々や福島県選手団、猪苗代小学校、檜枝岐スキークラブなど、支えてくださった全ての方々に、改めて感謝の気持ちを伝えたいです。



集まれ!!未来のアスリート



ふくしまスポーツキッズ発掘事業

将来有望な人材の発掘・確保・育成を目的として「スポーツが大好き」「なにかスポーツをやってみたい!」という小学生を対象に、自分に合った種目や興味のあるスポーツに出会い、夢や希望をもってスポーツに取り組むことができるよう支援をしています。

体験プログラム

令和5年度体験プログラムは、19競技21種目、全32回のプログラムを実施しました。県内の小学生を対象に、競技団体主催の体験教室を実施しています。毎年多くのキッズに様々な競技種目に参加していただいております。

| 日 程 | 種 目 | 主 催 団 体 |
|-----------|-------------|--------------------|
| 6月11日(日) | カヌー(スプリント)① | 福島県カヌー協会 |
| 7月 1日(土) | 相撲① | 福島県相撲連盟 |
| 7月 8日(土) | ウエイトリフティング① | 福島県ウエイトリフティング協会 |
| 7月 9日(日) | ウエイトリフティング② | 福島県ウエイトリフティング協会 |
| 7月22日(土) | ライフル射撃① | 福島県ライフル射撃協会 |
| 7月22日(土) | ボウリング | 福島県ボウリング連盟 |
| 7月23日(日) | カヌー(スラローム)① | 福島県カヌー協会 |
| 7月30日(日) | カヌー(スラローム)② | 福島県カヌー協会 |
| 8月 5日(土) | ライフル射撃② | 福島県ライフル射撃協会 |
| 8月 5日(土) | セーリング | 福島県セーリング連盟 |
| 8月11日(金) | トライアスロン | 福島県トライアスロン協会 |
| 8月20日(日) | カヌー(スラローム)③ | 福島県カヌー協会 |
| 8月22日(火) | ハンドボール | 福島県ハンドボール協会 |
| 8月27日(日) | カヌー(スラローム)④ | 福島県カヌー協会 |
| 9月10日(日) | ボクシング | 福島県ボクシング連盟 |
| 9月18日(月) | スポーツクライミング | 福島県山岳・スポーツクライミング連盟 |
| 9月23日(土) | 体操(器械体操) | 福島県体操協会 |
| 10月 1日(日) | ラグビーフットボール | 福島県ラグビーフットボール協会 |
| 10月 7日(土) | レスリング | 福島県レスリング協会 |
| 10月21日(土) | フェンシング | 福島県フェンシング協会 |
| 10月28日(土) | 銃剣道 | 福島県銃剣道連盟 |
| 11月 3日(金) | ソフトテニス | 福島県ソフトテニス連盟 |
| 11月 3日(金) | テニス | 福島県テニス協会 |
| 11月 3日(金) | 体操(器械体操) | 福島県体操協会 |
| 11月11日(土) | トランポリン | 福島県体操協会 |
| 11月11日(土) | スケート① | 福島県スケート連盟 |
| 11月18日(金) | スケート② | 福島県スケート連盟 |
| 11月25日(土) | 相撲② | 福島県相撲連盟 |
| 11月26日(日) | アイスホッケー | 福島県アイスホッケー連盟 |



ウエイトリフティング



セーリング



トライアスロン



カヌー スラローム



ボクシング



スポーツクライミング



体 操



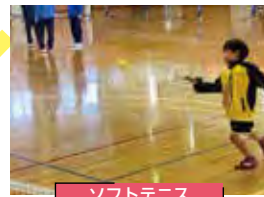
レスリング



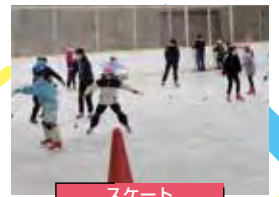
フェンシング



銃 剣 道



ソフトテニス



スケート



アイスホッケー



テ ニ ス

スポーツふくしま ビルドアッププロジェクト



ふくしまシャイニングスタープロジェクト

将来、全国大会や国際大会での活躍を希望する中学生に対し、オリンピック選手輩出実績のある競技の実践等を通じて未来のトップアスリートを育成することを目的とし、「ウエイトリフティング競技」と「自転車競技」の2競技で実施しました。

ウエイトリフティング競技

令和5年9月9日(土)に福島県立田村高校を会場として選考会を実施しました。その結果、4名が選考され、9月から1月にかけて大会見学や競技体験などを行いました。参加者は競技を間近で見学したり、トレーニングで汗を流したりしながら、競技の魅力を存分に味わいました。ふくしまの「シャイニングスター」たちの活躍が楽しみです。



自転車競技

令和5年12月16日(土)に福島県立白河実業高校第一体育館を会場として開催されました。10名の中学生が参加し、体力測定等の発掘テストを行いました。1月には強化練習会を開催します。参加した中学生は、高校生になってから本格的に自転車競技を始めたいという強い意志があり、今後の活躍が非常に楽しみです。これからの活躍を期待しています。



リーディングコーチ養成事業

本県選手が優れた指導を受けられる環境整備を図るため、指導者を対象とした競技力向上とスポーツインテグリティに係る研修会を実施しました。



リーディングコーチ養成研修Ⅰ

令和5年6月30日(金)13:30よりふくしま中町会館にて参集形式で行いました。東海大学教授の勝田隆先生をお迎えし、『コンピテンシーと向き合う～新たな時代に向けて～』との演題で御講義をいただきました。県スポーツ協会が指定する競技団体より推薦されたリーディングコーチ14名に御出席いただきました。

リーディングコーチ養成研修Ⅱ 兼 福島県スポーツ協会指導者研修

令和5年11月9日(木)13:45より福島県自治会館にて参集形式で行いました。本県会津若松市出身の駒澤大学陸上競技部総監督の大八木弘明氏とその教え子である本県の全国都道府県対抗男子駅伝チーム監督の安西秀幸氏に御対談いただきました。リーディングコーチ12名と各競技団体の指導者56名の計68名に御出席いただきました。

リーディングコーチ養成研修Ⅲ

令和6年2月7日(水)13:30よりふくしま中町会館にて参集形式で行いました。会津大学准教授の沖和砂先生をお迎えし、『福島県のコーチに求められるマネジメント力』との演題で御講義いただきました。リーディングコーチ9名に御出席いただきました。



ふくしまゴルフプロジェクト

全国でも有数のゴルフ場を有する福島県として、一般社団法人日本女子プロゴルフ協会（JLPGA）と連携を図りながら、プロで活躍する人材の育成やゴルフを通じた交流拡大、子どもたちの健全育成、高齢者の健康寿命の延伸に向け取り組むことにより、ゴルフ振興を通じた地域活性化を図ることを目的とした事業です。JLPGAの栗西鈴香氏をスペシャルコーチとして招聘し、「高等学校出前講座」、「スナッグゴルフ教室」、「ジュニアゴルフ塾」、「指導者養成事業」を実施しました。

高等学校ゴルフ出前講座

令和5年度実施校：福島県立安達高等学校、福島県立田村高等学校、福島県立光南高等学校、福島県立川口高等学校

高校生を対象に授業の一環として出前講座を実施して、ゴルフに触れる機会を創出し裾野拡大と技術力の向上に取り組みました。実施校の生徒達は、学校での基本練習、ゴルフ練習場での打球練習、ゴルフ場でのラウンド実習を通して技術を身に付けるとともに、ゴルフ競技を行う上で大切なマナーを学ぶこともできました。



スナッグゴルフ教室

子どもたち・高齢者等あらゆる世代（小学校、放課後児童クラブ、総合型地域スポーツクラブ等）を対象にゴルフにふれあう機会の創出を目的として、スナッグゴルフ教室を開催しました。

令和5年度実施団体：西郷村立川谷小学校、本宮市放課後子ども教室（遊友クラブ）、棚倉町教育委員会（棚倉児童クラブ）



ジュニアゴルフ塾

ゴルフ経験のある小学生、中学生を対象に、ジュニア期からのゴルフの競技力向上を図り、小学校から中学校、高等学校へとつながる人材を育成して本県から優秀なゴルファーを輩出することを目的に実施しました。令和5年度は、県南管内の小学生、中学生16名が栗西鈴香コーチよりレッスンを受けました。



指導者養成講習会

総合型地域スポーツクラブを対象としたゴルフ指導者の養成を目的とした事業です。ゴルフの指導ができる人材を増やし、あらゆる世代の方々がゴルフに対する興味・関心を深めることで本県ゴルフ競技の普及や底辺の拡大を図ってまいります。令和5年度は、南相馬市（南相馬市スポーツ推進委員、太田大甕スポーツクラブ、浮舟うきうきクラブ）で実施をしました。



講義及び実技の様子

令和5年度 公益財団法人福島県スポーツ協会 表彰式

令和5年度公益財団法人福島県スポーツ協会表彰式は、令和6年1月11日に福島市のエルティ ウェディング・パーティ エンポリウムにて執り行われました。式では各賞ごとに受賞者の呼名後、内堀雅雄名誉会長、北村清士会長より表彰状が授与されました。受賞者を代表して特別賞を受賞された寺田拓未選手（水泳競技）より謝辞がありました。

表彰式後には、受賞者と名誉会長・会長との記念写真撮影を行いました。

今年度の受賞者は下記のとおりです。（敬称省略）※所属は大会出場時のものを記載しています。

スポーツ功労賞 多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々

- 黒沢 忠(福島県相撲連盟)
- 小熊 義一(福島県スキー連盟)
- 高畑 京子(会津若松市体育協会)
- 菊池 啓治(福島県ライフル射撃協会)
- 伊藤 隆司(福島県バレーボール協会)
- 目黒 修世(北塩原村体育協会)
- 佐藤 洋光(一社)福島県バスケットボール協会)
- 本田 光男(福島県フェンシング協会)
- 小黒 敬三(浪江町体育協会)
- 渡辺 正光(福島県バドミントン協会)
- 根本 長徳(福島県ボウリング連盟)
- 加藤 出(福島県弓道連盟)
- 班目 秀雄(NPO法人白河市スポーツ協会)

優秀選手賞(個人) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を取めた選手及び国際大会に出場した選手

陸上競技

- 松本奈菜子(株式会社東邦銀行)
- 遠藤 日向(住友電気工業株式会社)
- 山内 大夢(株式会社東邦銀行)
- 安倍 優紀(東海大学)
- 今西 亮太(順天堂大学)
- 曲山 純平(日本大学東北高等学校)
- 菅野 凌平(福島県いわき光洋高等学校)
- 長峰 礼(福島県立郡山明世高等学校通信制課程)
- 君島 風牙(日本大学東北高等学校)
- 増子 陽太(学校法人石川高等学校)

ソフトテニス

- 大武 夢菜(須賀川市立西袋中学校)
- 大武 姫菜(須賀川市立西袋中学校)

卓球

- 津田 圭一(会津クラブ)
- 田崎 朝子(会津クラブ)
- 伊藤 昌夫(T I S S)
- 菅原 慎一(竹馬クラブ)
- 本田トシ子(竹馬クラブ)
- 小塩 浩(N・E・O)
- 外山 愛(SANKYO)

水泳

- 寺田 拓未(ミキハウス)
- 西川 炎歩(日本大学東北高等学校)
- 井川 龍心(福島成蹊高等学校)
- 渡部 竣也(日本大学東北高等学校)
- 千葉 彩加(郡山市立郡山第五中学校)
- 今野 介人(郡山市立富田中学校)
- 千葉 優奈(郡山市立郡山第五中学校)

自転車競技

- 窪木 一茂(チームブリヂストンサイクリング・JPCU福島)
- 三神 遼矢(日本大学)
- 邊見 竜馬(日本大学)
- 吉田 唯斗(明治大学)
- 大関 奏音(日本体育大学)
- 福田 悠航(学校法人石川高等学校)
- 舟木 玲王(学校法人石川高等学校)
- 小林 岳央(学校法人石川高等学校)
- 渡邊 琉聖(福島県立平工業高等学校)
- 榊枝 天旺(学校法人石川高等学校)
- 成田 光志(学校法人石川高等学校)

ライフル射撃

- 須藤 巧(日本大学東北高等学校)

バドミントン

- 遠藤夫美子(郡山ポピーバドミントンクラブ)
- 吉田 邦男(ゼビオコーポレート株式会社)
- 石井 正男(白河クラブ)
- 鈴木 町子(会津シャトル)
- 高橋 裕一(あいづアスレチッククラブ)
- 齋藤 勝明(チーム上酒林)
- 藤井 康子(FREEDOM)
- 芳賀 紗織(BC. Grand Cru)

- 谷岡 大后(福島県立ふたば未来学園高等学校)
- 江田 和博(福島県立ふたば未来学園高等学校)
- 関根 翔太(福島県立ふたば未来学園高等学校)
- 山北 奈緒(福島県立ふたば未来学園高等学校)
- 須藤 海妃(福島県立ふたば未来学園高等学校)
- 松川 健大(福島県立ふたば未来学園高等学校)
- 中静 悠斗(福島県立ふたば未来学園高等学校)
- 川野 寿真(福島県立ふたば未来学園高等学校)
- 山城 政人(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 宮下 翔伍(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 増田 遥(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 植木 伸弥(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 品田 莉希(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 品山 想来(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 溝尾 花奈(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 大石 夢陽(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 山北 莉緒(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 芦田 潤平(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 寺島 拓夢(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 芳賀 凜歩(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 上野 優寿(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 伴野 碧唯(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 佐藤 心彩(福島県立ふたば未来学園中学校)

ボクシング

- 山崎 湊(松韻学園福島高等学校)
- 菅野 七海(いわき市立平第一中学校)
- 伊藤 瑠那(会津若松市立第四中学校)
- 郡司 皇牙(会津若松市立第二中学校)
- 伊藤 蒼空(会津若松市立小金井小学校)

柔道

- 鈴木 直登(東海大学)
- 伊藤 大峰(桐蔭横浜大学)
- 真壁 創志(三春町立三春中学校)

スケート

- 安田 彩夏(八戸学院大学)

馬術

- 秋葉 大地(日本大学東北高等学校)

バレーボール

- 目黒 優佳(J T マーヴェラス)

ウェイトリフティング

- 今野 金哉(県警クラブ)
- 高野 滋(福島県ウエイトリフティング協会)
- 大内 俊幸(マルナカ株式会社)
- 清野 裕司(福島県立福島明成高等学校(教))
- 村田 明文(株式会社久工業所)
- 山川 良太(有限会社石倉新聞店)
- 近内 三孝(日本大学(職))
- 穴戸 大輔(日本大学(職))
- 遠藤 朱李(鏡石町立第二小学校(教))
- 福田 智里(金沢学院大学)
- 安藤 千鈴(東京国際大学)
- 遠藤 梨李(東京国際大学)
- 君島 一成(日本大学)

- 本間 愛梨(平成国際大学)
- 増子 創也(福島県立福島明成高等学校)

レスリング

- 今村 太陽(いわき市レスリング教室)
- 鈴木 優輔(いわき市レスリング教室)
- 穴戸 拓海(いわき市レスリング教室)
- 栗城 和弥(日本体育大学)
- 下村 武靖(福島県立喜多方桐桜高等学校)
- 筒井 双(福島県立ふたば未来学園高等学校)
- 内山 陽諤(福島県立ふたば未来学園高等学校)
- 阿久津こはる(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 湯田 鈴(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 保坂 樹奈(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 久保山 朔(福島県立ふたば未来学園中学校)
- 牧野 心咲(福島県立ふたば未来学園中学校)

フェンシング

- 本間 陽向(福島県立川俣高等学校)
- 佐藤 終吾(川俣町立川俣中学校)

銃剣道

- 山口あや子(陸上自衛隊第6高射特科大隊)

なぎなた

- 安藤 美里(会津若松市立第一中学校)
- 新妻楓乃音(会津若松市立一箕中学校)
- 室井 優(会津若松市立一箕中学校)
- 山口穂乃佳(会津若松市立一箕中学校)
- 伊藤 心音(福島県立会津学鳳中学校)
- 山中 彩葉(福島県立会津学鳳中学校)
- 室井 彩良(福島県立会津学鳳中学校)
- 稲川 舞(福島県立会津学鳳中学校)
- 星 凜花(会津若松市立小金井小学校)
- 渡邊 咲仁(会津若松市立一箕小学校)

ボウリング

- 中田 明(福島県ボウリング連盟)
- 鈴木 英子(福島県ボウリング連盟)

カヌー

- 小山田香貴(立命館大学)
- 渡辺 愛生(同志社大学)
- 青木 瑞樹(自衛隊体育学校)

パワーリフティング

- 山本奈津子(MBP)

スポーツチャンバラ

- 佐藤 慈貴(郡山市立高瀬小学校)
- 横田 淳(郡山市立金透小学校)

(公財)福島県障がい者スポーツ協会

- 齋藤由希子(SMBC日興証券)
- 佐々木真菜(株式会社東邦銀行)
- 半谷 静香(トヨタループス株式会社)
- 橋本 勝也(日興アセット)
- 高橋 剛志(株式会社チェンジホールディングス)
- 遠藤 裕美(福島県ボッチャ協会)
- 長谷川 岳(福島県ボッチャ協会)
- 菅野 真樹(福島県ボッチャ協会)

優秀選手賞(団体) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた団体

ソフトテニス

- 令和5年度全国中学校体育大会ソフトテニス競技 男子団体 西郷村立西郷第一中学校男子ソフトテニス部
- 第40回全日本小学生ソフトテニス選手権大会 男子団体戦 福島県男子選抜チーム

バドミントン

- 日本スポーツマスターズ2023/バドミントン競技 女子団体 福島県
- 第23回全国社会人クラブ対抗バドミントン選手権大会 成年男子団体 福島県選抜
- 令和5年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会 学校対抗 男子 福島県立ふたば未来学園高等学校
- 令和5年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会 学校対抗 女子 福島県立ふたば未来学園高等学校
- 特別国民体育大会 バドミントン競技 少年男子 福島県
- 令和5年度全国中学校体育大会バドミントン競技 男子団体 福島県立ふたば未来学園中学校
- 令和5年度全国中学校体育大会バドミントン競技 女子団体 福島県立ふたば未来学園中学校
- 令和4年度第51回全国高等学校選抜バドミントン大会 学校対抗 女子 福島県立ふたば未来学園高等学校

- 令和4年度第51回全国高等学校選抜バドミントン大会 学校対抗 男子 福島県立ふたば未来学園高等学校
- 第23回全日本中学生バドミントン選手権大会 都道府県対抗団体戦 福島県

柔道

- 2023年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会 女子団体 いわき柔道スポーツ少年団

弓道

- 特別国民体育大会 弓道競技 少年女子 近的競技 福島県

銃剣道

- 第22回全日本短剣道大会 団体戦女子 郡山

綱引

- 2023全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会 男子ジュニア300kg以下 木幡べんてんジュニア 福島県中学校体育連盟

- 令和5年度全国中学校体育大会バスケットボール競技 女子 郡山市立郡山第三中学校女子バスケットボール部

優秀指導者賞 優秀選手の育成に直接貢献した指導者

陸上競技

- 吉田真希子 株式会社東邦銀行
- 高橋直之 日本大学東北高等学校
- 鈴木亮太 西郷村立西郷第一中学校
- 中野目和也 クラブACC
- 西川友章 福島県立郡山商業高等学校・郡山ダイビングクラブ
- 本多裕樹 福島県立ふたば未来学園高等学校
- 久保菜摘 福島県立ふたば未来学園高等学校

陸上競技

ソフトテニス

ソフトテニス

水泳

バドミントン

バドミントン

バドミントン

- 齋藤 亘 福島県立ふたば未来学園中学校
- 松浦 健人 福島県立橘高等学校
- 砂川 航祐 福島県立ふたば未来学園高等学校
- 今野 勝 川俣ホーム
- 肥塚 克典 陸上自衛隊第6特科連隊
- 齋藤 慶司 木幡べんてんジュニア
- 石川 望美 郡山市立郡山第三中学校

弓道

レスリング

フェンシング

銃剣道

綱引

バスケットボール

社会優良団体賞 地域・職域のクラブとしての活動を通して、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体

- 福島ジュニアソフトテニスクラブスポーツ少年団

- 福島県障がい者スポーツ指導者協議会

特別賞 国民体育大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人およびその指導者

バドミントン

- 福島県立ふたば未来学園高等学校バドミントン部
- 寺田 拓未 ミキハウス
- 窪木 一茂 日本競輪選手会福島支部
- 阿久津こはる 福島県立ふたば未来学園中学校

水泳

自転車競技

レスリング

陸上競技

- 齋藤由希子 S M B C 日興証券
- 橋本 勝也 日興アセットマネジメント
- 高橋 剛志 株式会社チェンジホールディングス

車椅子ラグビー

車椅子ソフトボール



特別賞
寺田 拓未 選手



特別賞
ふたば未来学園高等学校バドミントン部



特別賞
寺田 拓未 選手



特別賞
阿久津こはる 選手



特別賞
齋藤 由希子 選手



特別賞
橋本 勝也 選手



特別賞
高橋 剛志 選手



スポーツ功労賞
伊藤 隆司 氏



優秀選手賞(個人)
小林 岳大 選手



優秀選手賞(団体)
バドミントン福島県代表 山本 想来 選手



優秀指導者賞
松浦 健人 氏



社会体育優良団体賞
福島県障がい者スポーツ指導者協議会代表 伊藤 隆司 氏



スポーツ功労賞を受賞された方々



名誉会長あいさつ



開会あいさつ



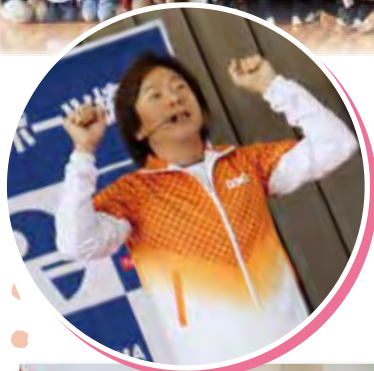


親子体操教室・指導者実技講習会

白河市

ひろみちお兄さんと一緒に楽しもう！

親子体操教室



令和5年10月22日(日)、白河市総合運動公園中央体育館において、「体操のお兄さん」こと佐藤弘道氏を講師にお迎えし、子ども運動啓発事業「親子体操教室&指導者実技講習会」を開催しました。

午前の部の親子体操教室には、86組229名の親子が参加しました。音楽に合わせて元気いっぱい、親子で微笑みながら活動する姿があり、あっという間の1時間でした。



元気に楽しく体を動かして子供の基礎体力作りを学ぼう！

指導者実技講習会

午後の部の指導者実技講習会には、幼児教育に関わる指導者や総合型地域スポーツクラブの関係者など26名が参加しました。運動会に活用できるたくさんのプログラムで指導者の方々も楽しく体を動かしました。



スポーツ医事・トレーニング相談事業

この事業では、スポーツ愛好者や競技者のけが・病気に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図ることを目的としています。依頼により、相談員・講師を派遣します。



相談員・講師

本協会スポーツ医・科学委員
スポーツドクター部会員
アスレティックトレーナー部会員
スポーツ栄養士部会員
その他、スポーツ医科学委員が認めた講師

講師派遣の内容例

- 講義
- スポーツ外傷・障害の基礎知識
 - スポーツと栄養
 - アンチ・ドーピング
 - 女性に対するスポーツ指導
 - けがの応急手当 など
- 実技
- ストレッチ
 - スポーツテーピング
 - ウォーミングアップ、クールダウン
 - スポーツマッサージ・筋力トレーニングなど

ストレッチ・体幹トレーニング講習会



スポーツ外傷の応急処置講習会



スポーツと栄養講習会



アンチ・ドーピング研修会



アンチ・ドーピング教育・啓発活動では、競技者をはじめスポーツに関わる全ての人に、クリーンでフェアなスポーツマンシップとアンチ・ドーピングを啓発することを目的として、福島県スポーツファーマシスト協会の協力のもと啓発活動を実施しています。

活動の詳細はHPをご覧ください。





スポーツ指導者養成講習会

日本スポーツ協会及び加盟団体等では、生涯スポーツ社会の実現を目指し、生涯を通じた「快適なスポーツライフ」を構築するため、その推進の中心となる指導者を養成しており、年齢（発育発達段階）や技能レベル、興味や志向など多様なスポーツ活動に対応するため、指導対象や活動拠点を考慮し5領域18種類の資格を設け、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動を推進することのできるスポーツ指導者を育成しています。

公認スポーツ指導者資格の種類

①スポーツ指導者基礎資格

- コーチングアシスタント
- スポーツリーダー（養成終了）

③メディカル・コンディショニング資格

- スポーツドクター
- スポーツデンティスト
- アスレティックトレーナー
- スポーツ栄養士

⑤マネジメント指導者資格

- アシスタントマネジャー
- クラブマネジャー

②競技別指導者資格

- スタートコーチ
- コーチ1（旧 指導員）
- コーチ2（旧 上級指導員）
- コーチ3（旧 コーチ）
- コーチ4（旧 上級コーチ）
- 教師
- 上級教師

④フィットネス資格

- フィットネストレーナー（養成修了）
- スポーツプログラマー
- ジュニアスポーツ指導員

公認スポーツ指導者とは

スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、**プレーヤーズセンタード**の考え方のもとに**暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除**し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる者。

プレーヤーズセンタードとは…

プレーヤーを取り巻くアントラージュ自身もそれぞれのWell-being（良好・幸福な状態）を目指しながら、プレーヤーをサポートしていくという考え方。



※日本スポーツ協会HPから抜粋

上記の資格のうち、本協会では、生涯スポーツ係でコーチ1・コーチ2・スポーツドクター・アスレティックトレーナーの資格取得に関すること、ふくしま広域スポーツセンターでアシスタントマネジャー養成講習会の運営、スポーツ少年団でスタートコーチ養成講習会の運営を行っています。

| | 競技名 | 開催期日 | 受講者数 | 会場 |
|------------|------------|--|------|-----------------------------|
| コーチ1(専門科目) | テニス | ①10月28日～29日 | 13名 | グリーンアカデミースポーツクラブ |
| | 水泳 | ①9月3日 ②9月24日 ③10月1日 | 4名 | 本宮市民プール 本宮第一中学校体育館 |
| | 弓道 | ①8月6日 ②8月26日 ③8月27日 ④10月22日 ⑤11月18日 12月9日 | 22名 | 二本松市城山弓道場 郡山市開成山弓道場 |
| | ソフトボール | ①12月2日～3日 | 24名 | ヨーク開成山スタジアム |
| | 山岳 | ①7月1日～2日 ②11月11日～12日 ③1月13日～14日 | 12名 | 郡山市青少年会館 那須申子青少年自然の家 |
| | なぎなた | ①10月28日～29日 ②11月18日～19日 | 12名 | 会津若松市旧学鳳高等学校南体育館 |
| | スポーツクライミング | ①10月15日 ②10月21日～22日 | 20名 | あづま総合運動公園クライミングウォール、 会議室 |

競技別指導者資格においては、各競技団体との連携のもとに令和5年度は上記の7競技で養成講習会を開催しました。

受講者の方々はいずれも高い志をもち、真剣な中にも時折笑顔を見せながら、自己の指導力の向上に繋げるべく指導者としての基礎理論、実技・指導実習や応急処置などの講義に取り組んでいました。ぜひ、専門科目と共通科目の両方を合格され、令和6年10月から資格取得者として、これからより幅広く社会に貢献できる地域のスポーツ指導者として活躍されることを期待しています。



令和6年度公益財団法人日本スポーツ協会公認 コーチ1・コーチ2養成講習会について

令和6年度に本県で開催を予定しているのは、以下の通りです。開催時期や日程・内容等の詳細については、本協会ホームページに令和6年5月上旬に掲載予定です。

コーチ1（5競技）：ソフトテニス、水泳、バドミントン、山岳、バレーボール

コーチ2（1競技）専門種目：バドミントン

共通科目Ⅱ：集合講習会（福島県スポーツ協会）

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得に関する申込手続きや情報提供等は日本スポーツ協会「指導者マイページ」に掲載されています。これから新たに指導者資格の取得を目指す方はもちろん、既に指導者資格をお持ちの方もぜひ日本スポーツ協会「指導者マイページ」の登録をお願いします。指導者マイページを利用すると、本県で開催される講習会以外にも全国各地で行われている講習会情報の取得や申込みが可能です。（登録方法は、本協会ホームページでも紹介しています。）



指導者マイページ(日本スポーツ協会)について
(<https://www.sports-fukushima.or.jp/coach/>)





福島県スポーツ指導者研修会

(更新研修会)

福島県スポーツ指導者協議会では、スポーツ指導者の資質向上と指導活動の充実を図るために、年2回のスポーツ指導者研修会(更新研修会)を実施しており、今年度も下記のとおり開催しました。



開催日 第1回 令和5年11月26日(日) 第2回 令和5年12月17日(日)

場所 郡山ユラックス熱海

参加者 第1回 167名 第2回 86名

内容 第1回 講演I
 演題「選手、子どもたちのスポーツ権を尊重する」
 講師：スポーツライター、
 一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構業務執行理事 増島みどり氏
 研究協議「運動部活動の地域移行にともなう地域スポーツ指導者の役割について」
 ファシリテーター：福島県スポーツ指導者協議会会長 比佐 功氏

第2回 シンポジウム
 演題「運動部活動の地域移行にともなう地域スポーツ指導者の役割について」
 コーディネーター：公益財団法人笹川スポーツ財団 渋谷 茂樹氏
 パネリスト：足利短期大学こども学科准教授 小野 寛久氏
 会津大学文化研究センター 准教授(博士) 沖 和砂氏
 NPO法人かわまたスポーツクラブ事務局長、
 スポーツクラブマネジャー 氏家美代子氏
 研究協議「運動部活動の地域移行にともなう地域スポーツ指導者の役割について」
 ファシリテーター：公益財団法人笹川スポーツ財団 渋谷 茂樹氏



増島 みどり氏



比佐 功氏



渋谷 茂樹氏



(左から) 氏家美代子氏、小野寛久氏、沖 和砂氏

第1回目の講演Iでは、プレイヤーズセンターの考え方やスポーツにおける多様な性のあり方について学びを深めました。第2回目の講義では、一つのテーマをもとにそれぞれの立場から意見を述べ合いシンポジウム形式で行われました。

第1回、第2回共通の研究協議では、「運動部活動の地域移行にともなう地域スポーツ指導者の役割について」をテーマに、「子どもが主体って何だろう」「謝金や子どもの参加費は…」「社会の流れを活かしつつ、指導者として地域におけるスポーツ現場が10年後にはどうなって欲しいか…」などについて、8名程度のグループに分かれて、話し合ったり情報交換をしたりして、地域スポーツ指導者の役割やよりよい指導の在り方について、考えを深めることができました。

令和6年度の講習会受講にあたって

本研修会は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の**更新研修**にあたります。公認スポーツ指導者資格の有効期間は**4年間**と定められており、**資格を更新するためには有効期限の6か月前までに所定(競技によって異なる。)の更新研修を受けることが義務付けられています。**自身の資格の競技名や有効期限等を御確認いただき、対象競技の方はぜひ受講を御検討ください。(更新対象外競技の方も受講できますが、資格の更新にはなりませんので注意してください。)

令和6年度の開催予定は下記のとおりです。

開催予定日 第1回：令和6年9月1日(日) 第2回：令和6年11月24日(日)

場所 郡山ユラックス熱海

申込み方法 令和6年の6月下旬を目安に、本協会ホームページに実施要項を掲載します。そちらを御確認いただき、次の①～③のいずれかの方法でお申込みください。なお、①の指導者マイページからの申込を原則とし、それが困難な場合は②または③の方法でお申込みください。

① インターネットサービス「指導者マイページ」(<https://my.japan-sports.or.jp/login>)のアカウント 登録手続きを行い、指導者マイページから本講習会の申込手続きを行う。指導者マイページの登録方法については、公益財団法人福島県スポーツ協会ウェブサイト参照。**【福島県スポーツ協会→スポーツ指導者→指導者マイページ(日本スポーツ協会)について】**で検索

② FAXで申込む。FAX番号：024-521-7971

③ E-mailで申込む。送信先：shougai@sports-fukushima.or.jp

※②③については様式自由で下記の必要事項を記入の上、期日までにお申込み下さい。

- 福島県スポーツ指導者協議会事務局宛(担当 大槻)
- 郵便番号・住所・電話番号 ○氏名 ○登録番号 ○資格・競技名

本研修会以外の更新研修会の情報については日本スポーツ協会ホームページをごらんください。

・資格更新のための研修 - スポーツ指導者 - JSPO (<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid238.html>)



スポーツ指導者資格関連情報

更新登録時の特例措置の廃止について（2024年10月1日付更新登録以降）

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、2024年4月1日付の更新登録・再登録におきましては特例措置が出されておりましたが、2024年10月1日付更新登録以降は特例措置がなくなりました。

該当する方は日本スポーツ協会のホームページを御確認ください。

※下記は日本スポーツ協会 HP から抜粋



新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、4年間にわたって講じてきた公認スポーツ指導者資格の更新登録時の特例措置について、更新研修の実施状況に加え、指導者自らも常に学び続けながらプレーヤーの成長を支援するという公認スポーツ指導者育成のコンセプトに鑑み、2024年4月1日付更新登録における対応（以下ご参照）をもって終了いたします。

そのため、2024年10月1日付更新登録以降、これまで特例措置の対象であった資格・競技についても、有効期限の6か月前までに当協会（JSPO）あるいは当該中央競技団体等の定める研修会の受講が必要となりますので、以下をご参照の上で、お早めに受講いただきますようお願いいたします。

更新研修のご案内

公認スポーツ指導者資格の有効期間は、資格登録後4年間です。**資格を更新するためには、資格認定日（更新日）から資格有効期限の6か月前までに**、日本スポーツ協会あるいは当該中央団体等の定める研修会を最低1回受けることが必要です。研修受講期限までに、更新研修を受講しなかった指導者へは更新登録案内が送付されませんのでご注意ください。なお、「スポーツリーダー」については、永年認定資格のための登録・更新はありません。



| 有効期限 | 有効期限 | 研修受講期限 | 更新登録手続き期間 |
|-------|---------|------------|-----------------|
| 2023年 | 3月31日の方 | 2022年9月30日 | 2023年1月下旬～3月31日 |
| | 9月30日の方 | 2023年3月31日 | 2023年7月下旬～9月30日 |
| 2024年 | 3月31日の方 | 2023年9月30日 | 2024年1月下旬～3月31日 |
| | 9月30日の方 | 2024年3月31日 | 2024年7月下旬～9月30日 |
| 2025年 | 3月31日の方 | 2024年9月30日 | 2025年1月下旬～3月31日 |
| | 9月30日の方 | 2025年3月31日 | 2025年7月下旬～9月30日 |
| 2026年 | 3月31日の方 | 2025年9月30日 | 2026年1月下旬～3月31日 |
| | 9月30日の方 | 2026年3月31日 | 2026年7月下旬～9月30日 |
| 2027年 | 3月31日の方 | 2026年9月30日 | 2027年1月下旬～3月31日 |
| | 9月30日の方 | 2027年3月31日 | 2027年7月下旬～9月30日 |

※資格認定日（更新日）に、それまでの研修実績がリセットされます。そのため、資格認定日以前の研修実績は、資格認定日以降の研修実績として持ち越されませんのでご注意ください。

例：2023年4月1日付で新規登録（追加登録や昇格は除く）や更新された場合

→2023年4月1日以降に開催された研修が実績の対象となります。

▽2024年4月1日付特例措置の詳細

スポーツ指導者に関するお知らせ-JSPO

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/news/tabid884.html?itemid=4745>

指導者マイページへの研修参加実績の反映について

参加から平均2か月程度で反映します。2か月後以降も反映されていない場合は、参加された研修会の運営団体までお問い合わせをお願いいたします。

※水泳・テニス・エアロビック・プロゴルフ・プロスキー・スポーツデンティスト・スポーツ栄養士の資格については、競技団体の意向により研修会の受講実績を独自で管理しているため、資格更新の約4か月前に反映されます。



令和5年度 福島県スポーツ協会認定 スポーツ栄養士スキルアップ講習会

この講習会は、スポーツ医事・トレーニング相談事業等の講師、スポーツ愛好者や競技スポーツ活動における栄養・食事に関する専門的なサポートを担当する県協認定スポーツ栄養士のスキル向上を図ることを目的としており、県内各地から本協会の認定スポーツ栄養士 13名の皆様が集まりました。

日程・場所 令和5年7月16日(日曜日)、キョウウグループ・テルサホール

講師・テーマ



あいさつ
中村啓子部会長



あいさつ
酒井有理子副部会長

講義①

星野 寧人氏
(社会医療法人福島厚生会福島第一病院循環器内科部長、管理部アンチエイジング部長)

「食事と運動で目指すアンチエイジング」

- アンチエイジング 薬に頼らず栄養、運動、他で目指す予防医学
- 福島県人は塩分とりすぎ問題 心血管、腎臓そして心不全
- 現代人の末路 要介護は予防できないの？



星野 寧人氏

講義②

大槻 さおり氏
(福島県企画調整部文化スポーツ局スポーツ課指導主事)

「スポーツの現場から (ジュニアアスリートの育成)」～スポーツ栄養士に期待すること～

- 小学生の陸上競技大会の実際 個別の対応が必要→自己マネジメント能力の育成
- 中学生の実際 小学校での食育(貧血予防)について、追跡調査の結果から見えること
- 演習 日常の食事、試合当日の食事、おやつについて



大槻さおり氏

講義③

武藤 真紀氏
(JSPO 公認スポーツ栄養士、福島県スポーツ協会認定スポーツ栄養士)

栄養サポート実践報告「スポーツ栄養と栄養教諭との関わり」

- 伝達講習
- 実践事例と具体的な関わり、指導のポイント



武藤 真紀氏

情報交換会

- 活動状況報告：ウエイトリフティング部との関わりから
- 情報提供
- スポーツ医事・トレーニング相談事業資料の配付、活用について

活動の様子



受講後には、「幅広い内容いろいろな情報を得ることができました。福島県の課題解決のために栄養士の立場で取り組みたいです。」「競技者や保護者、指導者が求める栄養に関する情報が、どのようなものかを知ることができました。」「個別指導の栄養ケアマネジメントの流れなど再確認できました。また、競技別サポートの実際について学びたいと思いました。」「チームで行うことの大切さを再確認できました。」といった感想がありました。

今後においても自身ができるサポート活動について主体的に考えながら、それぞれの現場でより一層御活躍されるとともに、本県スポーツの発展に力を発揮していただければと思います。

令和
5年度

公益財団法人福島県スポーツ協会認定 アスレティックトレーナー スキルアップ講習会



スポーツ医事・トレーニング相談事業の講師、競技者・スポーツ愛好者の健康管理、傷害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等を担当する福島県スポーツ協会認定アスレティックトレーナーのスキルアップを目的として、隔年で開催しています。

本年度は、昨年度アスレティックトレーナー養成講習会を受講した16名に加え、スキルアップを目指す9名の合計25名が参加しました。

講習内容(集合講習会)

1日目 12月2日(土) 福島県青少年会館

- (1) 嶋原 智彦氏 (県スポーツ協会スポーツ医・科学委員)
「スポーツ外傷時の救急対応」
- (2) 鍛治内大輔氏 (県スポーツ協会スポーツ医・科学委員)
「アンチ・ドーピング」
- (3) 會澤 寿氏 (県スポーツ協会スポーツ医・科学委員)
「トレーニング各論 (コンディショニング)」
- (4) 小野 直也氏 (JSPO 公認アスレティックトレーナー)
「スポーツ外傷・障害の予防 (テーピング)」



2日目 12月3日(日) 福島県青少年会館

- (5) 酒井有理子氏 (JSPO 公認スポーツ栄養士)
「スポーツと栄養」
- (6) 山口 明子氏 (県スポーツ協会スポーツ医・科学委員)
「女性アスリートの特性」
- (7) 服部 和彦氏 (県スポーツ協会スポーツ医・科学委員)
「コンディショニングのプログラムデザイン」



本講習会は日本スポーツ協会の公認アスレティックトレーナー養成講習会のカリキュラムを参考に講座を設定し、本協会スポーツ医・科学委員や公認スポーツ指導者を講師に招いて行われました。受講者の皆さんには今後、アスレティックトレーナー部会の活動やスポーツ医事・トレーニング相談事業、各種研修会等、本県の競技力向上や生涯スポーツの振興事業等で御活躍いただきたいと思います。

集合講習会の様子



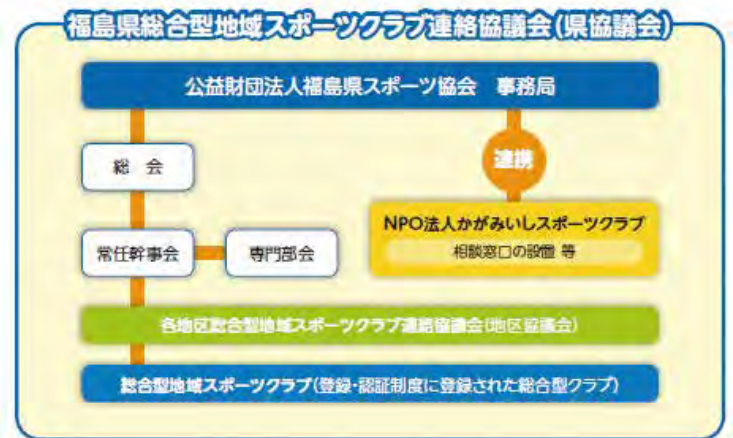
福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会とは

福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会(県協議会)は、県内で活動する総合型クラブの定着・発展を促進するため、その円滑な運営に資する情報交換や交流の活性化を図ることを目的として設立された公益財団法人福島県スポーツ協会組織内組織です。

福島県で設立されている78の総合型クラブの内、登録・認証制度に登録された43の総合型クラブによって構成されています。

県協議会は、地域区分ごとに地区連絡協議会が結成されており、「スポーツを核とした豊かなコミュニティの創造」を基本理念として活動しています。



公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会

令和4・5年度 県内総合型地域スポーツクラブ 予備登録クラブ一覧

| No | クラブ名 | 市区町村 | No | クラブ名 | 市区町村 |
|----|---|-------|----|-------------------------|-------|
| 1 | 一般社団法人いわしろふれあいスポーツクラブ | 二本松市 | 23 | 謹教スポーツクラブ | 会津若松市 |
| 2 | 東和さわやかスポーツクラブ | 二本松市 | 24 | 特定非営利活動法人ひめさゆりくらぶ | 喜多方市 |
| 3 | あだちスポーツクラブ | 二本松市 | 25 | 特定非営利活動法人赤べこトータルスポーツ | 柳津町 |
| 4 | 一般社団法人にほんまつ城山クラブ | 二本松市 | 26 | きたあいづスポーツクラブ | 会津若松市 |
| 5 | 特定非営利活動法人生涯学習プロジェクトもとみや[もとみやスポーツネットワーク] | 本宮市 | 27 | 特定非営利活動法人会津美里クラブ衆 | 会津美里町 |
| 6 | 岳クラブ | 二本松市 | 28 | やまとスポーツクラブ | 喜多方市 |
| 7 | NPO法人かわまたスポーツクラブ | 川俣町 | 29 | 特定非営利活動法人ただみコミュニティクラブ | 只見町 |
| 8 | 弥平塾スポーツクラブ | 伊達市 | 30 | 太田大鷲スポーツクラブ | 南相馬市 |
| 9 | 特定非営利活動法人たまかわ元気スポーツクラブ | 玉川村 | 31 | NPO法人そうま中央スポーツクラブ | 相馬市 |
| 10 | 滝根いきいきクラブ | 田村市 | 32 | 一般社団法人榎葉町スポーツ協会 | 榎葉町 |
| 11 | ひらたスポーツクラブ | 平田村 | 33 | 公益社団法人富岡町さくら文化・スポーツ振興公社 | 富岡町 |
| 12 | 特定非営利活動法人かがみいしスポーツクラブ | 鏡石町 | 34 | いいたてスポーツクラブ | 飯館村 |
| 13 | Vivakidsスポーツクラブ | 郡山市 | 35 | NPO法人はらまちクラブ | 南相馬市 |
| 14 | 総合型地域スポーツクラブ「仲間」 | 白河市 | 36 | 浮舟うきうきクラブ | 南相馬市 |
| 15 | 特定非営利活動法人はなわスポーツクラブ | 塙町 | 37 | 特定非営利活動法人かしま元気スポーツクラブ | 南相馬市 |
| 16 | 21' スポーツクラブinしらかわ | 白河市 | 38 | NPO法人広野みかんクラブ | 広野町 |
| 17 | NPO法人西の郷スポーツクラブ | 西郷村 | 39 | 特定非営利活動法人いわきクラブ | いわき市 |
| 18 | 特定非営利活動法人さめがわスポーツクラブ | 鮫川村 | 40 | 泉クラブ | いわき市 |
| 19 | 矢吹スポーツクラブ | 矢吹町 | 41 | 認定 NPO法人いわきFスポーツクラブ | いわき市 |
| 20 | 棚倉スポーツクラブ | 棚倉町 | 42 | 特定非営利活動法人いわき・あいスポねっと | いわき市 |
| 21 | 特定非営利活動法人チーム青い空 | 白河市 | 43 | 総合型地域スポーツクラブ Teco | いわき市 |
| 22 | 特定非営利活動法人スポーツクラブバンビィ | 会津坂下町 | | | |

※地区ごと、設立年度順に掲載

(公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会登録規程に基づき、令和4・5年度は予備登録クラブとなります。)

総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 令和6年度より本登録がスタートします

令和6年度の登録期間は、令和6年4月1日から令和7年3月31日となります。

令和6年度登録クラブ一覧は右のQRコードから確認できます。(令和6年4月更新予定)





福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 交流会事業

モルック交流会



令和4年の交流事業では、ニュースポーツ「モルック」を体験しました。交流事業の後には、県内各地区のクラブにおいて、モルックの体験教室等が実施されました。

令和5年度は、各地区でもさらに普及が進み、今人気のあるニュースポーツで交流しようと「モルック交流会」を開催しました。

交流会は3・4名のチームを作り、チーム対抗で試合を行いました。上手くいてもいなくても歓声上がるモルックをみんなで楽しみ、とても良い雰囲気でした。モルックの試合の後には、ニュースポーツの普及として「フレスコボール」を体験しました。

交流会の様子



同じ目的を持ったクラブの方と楽しみながら情報交換や交流を図り、また明日から頑張れると思える交流会となりました。

今後も参加される皆さんが楽しめる交流事業や加盟クラブの皆さんに必要な研修会の企画運営に努めて参りたいと思います。

福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 (公益財団法人福島県スポーツ協会内 事務局)

〒960-8043 福島市中町8番2号 福島県自治会館6階

TEL : 024-573-2655 FAX : 024-573-2699

E-mail : sc@sports-fukushima.or.jp HP : <https://www.sports-fukushima.or.jp/koiki/>



持続可能なクラブ運営の実現に向けた SDGsの取組について

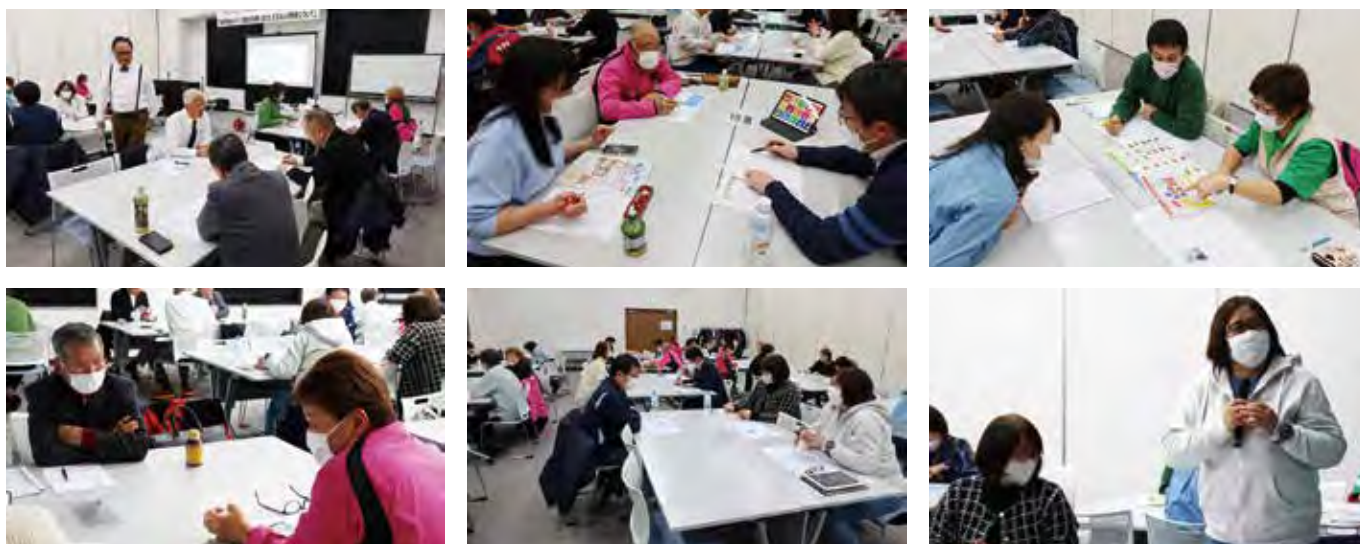


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



岡山理科大学経営学部経営学科の林恒宏准教授を講師にお迎えし、研修会を実施しました。始めに「スポーツ SDGs の定義」や「総合型地域スポーツクラブと SDGs」について講演をいただきました。スポーツは、平和と開発の目標達成に向けて前進するための費用効果的で柔軟なツールであり、重要な鍵であることを学ぶことができました。研修会後半には、グループワークを行い、「総合型地域スポーツクラブが SDGs に取り組む意義」について話し合いました。総合型地域スポーツクラブとしてすでに行っている活動を SDGs という切り口で発信し、行政や地域住民をさらに巻き込んでいくことが大切であると考えられました。

研修会の様子



参加者の声

- 自分たちがクラブで行っている活動が SDGs の多くのものと繋がっていることがわかった。
- SDGs を共通言語として情報を発信することで、他の団体と協力していきたいと感じた。
- 他の総合型クラブのみなさんと話をすることで、新しいアイデアを生み出すことができた。自分のクラブの活動に活かしていきたい。
- SDGs を切り口として発信する方法はおもしろいと思った。情報発信も継続していくことが大事であると感じた。



公認アシスタントマネジャー養成講習会

令和5年度公認アシスタントマネジャー養成講習会を8月26日(土)・27日(日)の両日にわたり、キョウワグループ・テルサホール「福島テルサ」にて実施しました。県内から15名の参加があり、熱心に受講していました。

アシスタントマネジャーの役割とは…

総合型地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ会員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブ運営のための諸活動をサポートする。

養成講習会カリキュラム

| 科目 | 項目 | 時間数 | 内容 |
|-------------|--|------------|--|
| 講 材 | 基礎I クラブマネジャーの役割 | 3時間 | マネジメントの基本的な考え方と総合型地域スポーツクラブにおいてマネジャーが果たす役割、マネジャーに求められる資質などについて理解します。 |
| | 基礎II クラブのつくり方 クラブの運営 | 3時間 | 実際に地域スポーツクラブを立ち上げてきた具体的事例を通し、クラブの設立、運営、経営面など一連のクラブ育成のストーリーと実際の経営内容を学びます。 |
| 義 情 報 | 基礎I 地域スポーツクラブとは 地域スポーツクラブの現状 | 3時間 | 地域スポーツクラブを取り巻く環境と目指すべきスポーツクラブに関する事業のミッションとビジョンを確認し、その必要性を学びます。 |
| | 基礎II クラブの運営 法人格取得 | 2時間 | クラブが社会的信用を高め、その事業および組織をより充実させるために有効な法人格の取得について理解し、そのメリット、デメリットについて考えます。 |
| 講 話 | 基礎II ケーススタディ 総合型地域スポーツクラブ マネジャー講話I | 1時間 30分 | 県内の総合型地域スポーツクラブで活躍しているクラブマネジャーから、その活動内容やクラブの課題、運営にあたって留意することなどを学びます。 |
| | 基礎II ケーススタディ 総合型地域スポーツクラブ マネジャー講話II | 1時間 30分 | 県内の総合型地域スポーツクラブで活躍しているクラブマネジャーから、その活動内容やクラブの課題、運営にあたって留意することなどを学びます。 |

1日目は、福島県における総合型地域スポーツクラブの概要やクラブマネジャーの役割、クラブを取り巻く環境の変化等について学びました。2日目はクラブ設立の発展、安定には欠かせない法人格取得について学び、ワークシートを用いたクラブ設立に向けての計画書の作成なども行いました。また、2日目の最後には資格取得のための検定試験も実施しました。

2日間の講習会を通して、地域スポーツに関わる総合型地域スポーツクラブ運営への理解を深めるとともに、県内のスポーツに関わっている方同士の情報交換や様々な団体との連携など、受講者同士や講師陣とのネットワークを形成することができました。受講者の皆様におかれましては、本講習会で学んだことを実際のクラブ運営等に生かしていただくとともに、ぜひとも日本スポーツ協会公認クラブマネジャーの資格取得も目指していただきたいと思います。



福島県スポーツ協会では、スポーツ振興くじ助成事業（クラブアドバイザー配置事業）を受け、クラブアドバイザー1名を配置し、県内の総合型地域スポーツクラブに対し指導助言、啓発活動等を行っています。

《 令和5年度福島県スポーツ少年団の登録状況 》



| 登録団数 | 指導者数 | 役員数 | スタッフ数 | 団員数計 |
|------|--------|------|--------|---------|
| 896団 | 3,167名 | 337名 | 2,021名 | 18,217名 |

◇男子

| 幼児 | ～小3 | 小4～小6 | 中学生 | 高校生以上 | 計 |
|-----|--------|--------|--------|-------|---------|
| 95名 | 2,748名 | 6,396名 | 2,666名 | 155名 | 12,060名 |

◇女子

| 幼児 | ～小3 | 小4～小6 | 中学生 | 高校生以上 | 計 |
|-----|--------|--------|--------|-------|--------|
| 56名 | 1,579名 | 3,065名 | 1,300名 | 157名 | 6,157名 |

《 令和5年度福島県スポーツ少年団表彰 》

◇功労者(6名)

| No. | 支部 | 氏名 | 所属団体名 |
|-----|----|-------|------------------------|
| 1 | 県北 | 菊田 茂男 | 福島ジュニアソフトテニスクラブスポーツ少年団 |
| 2 | 県北 | 佐藤 光一 | 二本松ジュニアソフトテニススポーツ少年団 |
| 3 | 県中 | 遠藤 均 | 郡山ハンドボールスポーツ少年団 |
| 4 | 県中 | 斎田 一男 | 鏡石鏡武館スポーツ少年団 |
| 5 | 県南 | 入谷みちこ | 白河市卓球スポーツ少年団 |
| 6 | 会津 | 小野 成明 | 湯川ソフトボールスポーツ少年団 |

◇優良団体(6団体)

| No. | 支部 | 団体名(市町村) | |
|-----|-----|---------------------|--------|
| 1 | 県北 | 大笹生スポーツ少年団 | (福島市) |
| 2 | 県北 | 荒井サッカースポーツ少年団 | (福島市) |
| 3 | 県中 | 三穂田剣道スポーツ少年団 | (郡山市) |
| 4 | 県中 | 柴宮サッカースポーツ少年団 | (郡山市) |
| 5 | 県南 | 大信スポーツ少年団バレーボール | (白河市) |
| 6 | いわき | 小名浜西リトルフロッグススポーツ少年団 | (いわき市) |

《 令和5年度日本スポーツ少年団顕彰 》

◇表彰登録指導者(5名)

| No. | 支部 | 氏名 | 所属団体名 |
|-----|----|-------|--------------------|
| 1 | 県北 | 高橋 幸雄 | あおばバスケットボールスポーツ少年団 |
| 2 | 県北 | 菅野 仁一 | 川俣ジュニアフレンズスポーツ少年団 |
| 3 | 県北 | 伊藤 省三 | 本宮柔道スポーツ少年団 |
| 4 | 県中 | 薄井 充良 | 須賀川市卓球スポーツ少年団 |
| 5 | 会津 | 酒井 靖隆 | 城西スキースポーツ少年団 |



第45回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会

- ・期 日 令和5年8月3日(木)～6日(日)
- ・会 場 大谷津運動公園野球場他
- ・出場団 南相馬野球スポーツ少年団



JFA第47回全日本U-12サッカー選手権大会

- ・期 日 令和5年12月26日(火)～29日(金)
- ・会 場 鹿児島県ふれあいスポーツランド他
- ・出場団 会津サントスFCスポーツ少年団



第21回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会福島県推薦団

- ・期 日 令和6年3月28日(木)～31日(日)
- ・会 場 宮城県セキスイハイムスーパーアリーナ他
- ・参加団 磯部白波クラブ男子スポーツ少年団(男子)
小名浜西リトルフロッグススポーツ少年団(女子)

第46回全国スポーツ少年団剣道交流大会福島県推薦団

- ・期 日 令和6年3月29日(金)～31日(日)
- ・会 場 ALSOK ぐんま総合スポーツセンターぐんまアリーナ・ぐんま武道館
- ・参加団 清水剣友スポーツ少年団

《 第50回日独スポーツ少年団同時交流 》

・期 日 受入期間：令和5年7月27日(木)～8月11日(金)



〈ウェルカムパーティー〉



〈スポーツ交流会〉

《 令和5年度福島県・埼玉県スポーツ交流事業 》

・期 日 令和6年1月20日(土)～21日(日)



〈国立青少年教育機構国立磐梯青少年の家〉



R6(2024)年度以降のスポーツ少年団指導者登録について



| SPORT A:指導者登録が可能な者 | SPORT 理念を学んだ指導者 | B:スポーツ少年団の理念を学んだ者 |
|--|--|--|
| <p>JSPO公認スポーツ指導者資格保有者 [★スタートコーチ(ジュニア・ユース) コーチングアシスタント、コーチ1など] ※前年度養成講習会受講修了者を含む</p> <p>JFA公認C級コーチ以上の資格保有者</p> <p>JBA公認C級コーチ以上の資格保有者</p> <p>指導者として スポーツ少年団登録が可能</p> | <p>★この資格のみで「スポーツ少年団の理念を学んだ指導者」として登録が可能</p> <p>★スタートコーチ(ジュニア・ユース)資格保有者 ※前年度養成講習会受講修了者を含む ※「A:指導者登録が可能な者」はスタートコーチ(ジュニア・ユース)資格を取得することで理念を学んだ指導者として登録が可能となる。</p> <p>A + B 両方保有する者 ※「B:スポーツ少年団の理念を学んだ者」は、右に記載の指定の資格に移行申請手続き(資格取得)をする他に、スポーツ少年団に指導者登録が可能な別の資格(左記載)を取得することで理念を学んだ指導者として登録が可能となる。</p> <p>理念を学んだ指導者として スポーツ少年団登録が可能</p> | <p>★スタートコーチ(ジュニア・ユース)資格保有者 ※前年度養成講習会受講修了者を含む</p> <p>シニア・リーダー資格登録者(2020年度以降に認定された者で継続してスポーツ少年団に登録している者) ※スタートコーチ(ジュニア・ユース)へ移行申請手続き(本資格を取得)すること、理念を学んだ指導者として登録が可能。(移行手続きには取得年度から4年間の期限と18歳以上の年齢制限がある)</p> <p>(△)少年団登録の有無を問わず理念を学んだ状態は維持される</p> <p>(△) 2019年度認定育成員登録者</p> <p>(△) 2019年度認定員登録者 ※コーチングアシスタントへ移行申請手続き(本資格を取得)することで、理念を学んだ指導者として登録が可能。</p> <p>(△) 2023年度シニア・リーダー登録者(2019年度以前にシニア・リーダーに認定された者に限る) ※2023年度までにコーチングアシスタントへ移行申請手続き(本資格を取得)をしていれば、理念を学んだ指導者として登録が可能。</p> <p>スタートコーチ(ジュニア・ユース)資格保有者 以外はスポーツ少年団へ指導者登録不可</p> |

「スタートコーチ(ジュニア・ユース)」は令和5(2023)年度までスタートコーチ(スポーツ少年団)という資格名称

JSPO公認スポーツ指導者資格の詳細については右記URL(<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid58.html>)をご参照ください。

©2024 Japan Sport Association All Rights Reserved.



チャリティー情報

チャリティーゴルフコンペを開催しました！

開催趣旨 ゴルフをとおして加盟競技団体やスポーツ関係者との親睦を図り、併せて競技力向上関係のチャリティー活動とする。また、競技に直接関わっている方々の率直な意見の交換と慰労を兼ねて開催する。

主催 公益財団法人福島県スポーツ協会

後援 福島県ゴルフ連盟

期日 令和5年11月23日(木祝日)

会場 安達太良カントリークラブ



チャリティーボウリングを開催しました！

趣旨 ボウリングをとおして加盟競技団体やスポーツ関係者との親睦を図り、併せて競技力向上関係のチャリティー活動とする。また、競技に直接関わっている方々の率直な意見の交換と慰労を兼ねて開催する。

主催 公益財団法人福島県スポーツ協会

主管 福島県ボウリング連盟

期日 令和6年2月10日(土) 13時00分 開始式

会場 福島オークラボウル



チャリティーポロシャツを販売しています！

速乾性に優れたメッシュ素材のボタンダウンポロシャツ。カラーは全部で**26種類**。
チームカラーやお好みの色のポロシャツを着て、FUKUSHIMAのスポーツを盛り上げよう！！

本協会では、「スポーツと未来へ ふくしまプライド」のスローガンのもと、「チャリティーポロシャツ」を作成しています。このチャリティーポロシャツは、個人・団体を問わずどなたでも購入できます。ぜひ一人でも多くの方にこのポロシャツを着ていただき、一体感を高め、福島県のスポーツを盛り上げていけましたら幸いです。チーム名や校章・マーク等の刺繍もできますので、大会・練習・イベント・職場など多様な場面でぜひ御利用ください。

なお、このポロシャツによる収益は、本協会におけるスポーツ振興事業のための一助とさせていただきます。デザイン・注文等についてはホームページをご覧ください。



福島県の誇りを胸に！チャリティーポロシャツ



公益財団法人福島県スポーツ協会賛助会員名簿

《法人・団体 特別会員》

| | | | |
|--|---|--|--|
| 会津商工信用組合 あぶくま信用金庫 (株)いちい いわき信用組合 (株)インフォメーション・ネットワーク福島 エクセルツリー(株) (株)岡部 (株)オノヤスポーツ (有)カネチョウ坂本商店 (株)環境分析研究所 (株)久野製作所 クリナップ(株)いわき事業所 クリヤマジャパン(株) | (株)クリーンテック (特非) J DMA (医)須賀川セントラル眼科 住友ゴム工業(株)白河工場 (株)セントラル住設 相双五城信用組合 (株)大東銀行 (株)ダイユーエイト (一財)竹田健康財団 (株)テレビユー福島 東亜道路工業(株)福島営業所 東京海上日動あんしん生命保険(株) 東京海上日動火災保険(株) | (株)東邦銀行 東北建設(株) (株)トヨタレンタリース福島 日本全業工業(株) (株)二丸屋山口商店 (株)ハニーズホールディングス (株)福島銀行 福島県議会スポーツ振興議員連盟 福島県ゴルフ連盟 福島県商工信用組合 福島県信用保証協会 福島県旅館ホテル生活衛生同業組合 (株)福島中央テレビ | 福島テレビ(株) 福島トヨタ自動車(株) (株)福島放送 (一財)ふくしま未来研究会 (株)福島民報社 福島民友新聞社 福浜大一建設(株) 公立藤田総合病院 (株)マルト (株)民報印刷 山木工業(株) (株)ヨークベニマル 若松測量設計(株) |
|--|---|--|--|

《法人・団体 会員》

| | | | |
|--|--|---|---|
| (株)会津技研 (株)明石スクールユニフォームカンパニー (株)アクセラ (有)吾妻印刷 (株)アポロガス あんしんFPふおあさいと (株)安藤組 石川建設工業(株) 磐城通運(株) (株)ウエディングエルティ 内池醸造(株) (株)海老名建設 F S G カレッジリーグ (株)エフエム福島 (株)エムケーテック (有)エンドースクリーン (有)大波商店 (一財)大原記念財団 小名浜製錬(株)小名浜製錬所 (株)加地和組 菅野建設(株) (株)絹川建設工業 キョウワセキュリティオン(株) キング印刷(株) (株)キスキ (株)グラコム (株)クラロン | (株)グレイス福島 (株)クレハ (株)クレハ環境 クレハ建設(株) (株)幸楽苑ホールディングス 小勝左官工業(株) 後藤建設工業(株) さかい動物病院 (株)佐藤商事 (有)佐平 (有)三共印刷所 (株)サンライト 庄司建設工業(株) スポーツメンタルトレーニング (株)セイユー建設 関場建設(株) (株)善邦 (福)創世福祉事業団 (株)相双緑化土木 第一温調工業(株) 大宝建設(株) 大邦産業(株) (株)高橋建設 タカラ印刷(株) 月電工業(株) 月電ソフトウエア(株) 東栄物産(株) | 東信建設(株) (株)東武 東北索道協会福島地区部会 (株)東北装美 T&C Lab. (株)中里工務店 日産プリンス福島販売(株) (株)NIPPO福島統括事業所 原町港湾運送(株) 東日本テクノレッジ(株) (有)挽野自動車 ファーストヘルステック(株) (株)ファミリーケア 福島県剣道連盟 福島県信用金庫協会 福島県ダンススポーツ連盟 福島県バウンドテニス協会 福島県南土建工業(株) (有)フクシマスポートランド (株)福島製作所 福島日産自動車(株) 福島訪問歯科医院 福島ヤクルト販売(株) ふくしま陸上スポーツ少年団 福島リコビー(株) (株)福南電気 (株)フジゴルフガーデン | (株)藤野 (有)古川瓦建材 北斗印刷(株) 堀江工業(株) (株)マルコ物流 丸三製紙株式会社 (株)丸福織物 (株)丸や運送 みずの内科クリニック (株)三宅新聞店 名鉄観光サービス(株)福島支店 (株)メディア・ネットワーク (株)本宮会計センター (株)ヤスタ創建 (株)山口工芸 山田建築(株) (株)やまと印刷 山本商事(株) (株)友愛 (株)ラジオ福島 (株)ル・プロジェ ワイザーエル(株) ワタナベカーペット(株) |
|--|--|---|---|

※他に匿名希望6法人・団体

《個人 特別会員》

壺 岐 ひろみ 菊 池 信太郎 須 佐 喜 夫 宗 形 守 敏

《個人 会員》

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|--|---|---|---|--|----------------------------------|---|
| 阿部 哲 阿部 正 安部 幸 飯塚 喜 五十嵐 義 大橋 哲 伊藤 隆 鶴沼 秀 | 哉美 男 美男 勝 悟 悟 義 男 哲 男 隆 司 秀 雄 | 遠太 小 藤田 小 豊敦 小 秋子 男 均 夫 小笠原 平 片平 野 菅野 村 木 喜 国 裕 小 杉 | 小松 信 小松 太 齋藤 久 坂本 孝 佐久間 和 佐藤 傳 佐藤 弘 | 之郎 夫 太郎 夫 久 弘 孝 朋 光 一 和 男 傳 男 弘 樹 | 佐藤 昌 大 正 柴野 照 山下 好 鈴木 浩 鈴木 千 鈴木 義 滝田 勝 富田 孝 | 志幸 夫 幸夫 宏 浩 一 賀子 祐 裕 彦 志 志 | 長永 中 岐田 新 嗣井 花 茂 宣 昭典 大 大明 治 彦 三 隆 隆 | 星 星 星 田 堀 目 班 井 松 本 水 戸 | 香 本 文 満 哲 秀 井 裕 真 由子 | 山米 渡 田 邊 田 正 知 正 志 仁 吉 吉 |
|---|---|---|---|--|---|---|---|--|----------------------------------|---|

※他に匿名希望3名

賛助会員加入のお願い

本協会では、本県スポーツ振興を目的とする事業に御賛同いただける賛助会員を年間を通して募集しております。

福島県民の皆様、本協会を応援いただける全国の皆様、ぜひ賛助会員として加入され、御支援を賜りますようお願いいたします。

賛助会費(年会費)

- 個人賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
 - 法人・団体賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
※個人会員は3口以上、法人・団体会員は5口以上で特別会員となります。
- 詳しくは、本協会ホームページをご覧ください。
<https://www.sports-fukushima.or.jp>

問合せ

〒960-8043 福島市中町8番2号
福島県自治会館6階
公益財団法人 福島県スポーツ協会
電話 024(521)7896
FAX 024(521)7971
E-mail
info@sports-fukushima.or.jp

編集
後記

特別国民体育大会「燃ゆる感動がごしま大会」では、陸上競技、自転車競技、ウエイトリフティング競技、弓道競技での優勝をはじめ、団体種目でも多数入賞など、チーム福島の健闘がスポーツの力で県民に勇気を与えてくれました。

本協会では、競技スポーツ、生涯スポーツどちらの分野においても、心身の健康増進とスポーツを楽しむことが促進されるよう、本誌をはじめホームページ、インスタグラム等を通じて県民の皆さまに様々なスポーツ情報を提供できるように努力して参ります。引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

小さな掛金、大きな補償

スポーツ 安全保険



加入区分・掛金 (年度初回加入時は4名以上)

| 加入対象者 | 補償対象となる団体・グループ活動 | 加入区分 | 年間掛金 (1人当たり) |
|----------------|---|-------------|-----------------|
| 子ども (中学生以下) | ※ スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動 | A1 | 800円 |
| | スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。 | C 64歳以下 | 1,850円 |
| 大人 (高校生以上) | 文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。 | B 65歳以上 | 1,200円 |
| | 危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む) | A2 | 800円 |
| 全年齢 | | D | 11,000円 |
| 子ども (中学生以下) | ※ 個人活動補償型 A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象 | AW | 1,450円 |
| | C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象 | CW 64歳以下 | 4,850円 |
| 大人 (高校生以上) | B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象 | BW 65歳以上 | 5,000円 |

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
 (注) C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和6年4月1日」を基準とします。

保険の詳細内容、資料の請求は、
 ホームページをご覧ください。



#スポーツチーム #大学クラブ #スポーツ少年団
 #放課後事業 #総合型地域スポーツクラブ #教室
 #部活動地域移行 #文化系サークル #ボランティア

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社 ☎ 0120-233-801
 担当課 公務第2部 文教公務室 (平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(令和6年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

公益財団法人スポーツ安全協会
<https://www.sportsanzen.org>